

総合評価一覧表

(平成28年度事務事業分)

目次

総務課	1 ページ
まち経営課	23 ページ
税務会計課	53 ページ
いきいき町民課	55 ページ
健康づくり課	59 ページ
子育て支援課	85 ページ
振興課	109 ページ
建設課	151 ページ
教育委員会	169 ページ

行政評価票

消防団員活動事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	災害発生時の対応や日頃の啓蒙活動など、消防団活動の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	消防団員へ支給品の整備や報酬、出勤手当等を支出する。 (団員報酬、退職金、退職記念品、出勤実費弁償、制服、特別点検費、災害補償負担金、退職金掛金、分団交付金)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	15,023	16,679	16,447	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	2,856	3,059	2,239
	一般財源	12,167	13,620	14,208

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団員報酬等 5,380,757円 ・ 退職報償金等 2,303,098円 ・ 火災出勤等実費弁償 1,127,000円 ・ 制服等購入費等 1,476,390円 ・ 備品購入費 448,740円 ・ 各種負担金 5,711,726円 ・ 町内初となる女性消防団員確保に向けた加入促進実施（広報誌等による啓発、勧誘活動等）
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	消防団員数									
	最終目標値	162									
	実績値	平成24年度	123	平成25年度	111	平成26年度	120	平成27年度	122	平成28年度	121
	達成度	76 %		69 %		74 %		75 %		84 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 消防団員報酬等は、条例に基づき支給しており、経費は適正である。また訓練・点検等は消防団組織の向上及び、消防団をPRする上で必要である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5/6点 条例改正により団員数の定員を192人から144人へ変更したため、計画側の目標指標の見直しが必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 防災体制の強化からも消防組織の向上は重要であるが、団員数が減少傾向にある。団員の確保が今後も必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	拡大
総合評価	火災等災害時及び平常時において、消防団員が減少するなか、各分団とも適正な活動を行った。今後、いつ起こるともわからない火災、土砂災害、地震災害等に備え、更なる、消防団員の加入促進、処遇改善、装備の充実が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

消防施設維持管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の消防防災体制の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	消防施設の維持管理費を支出する。 (詰所電気・水道料、詰所・防火水槽修繕料、詰所浄化槽管理費、詰所地代、工事費)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	2,150	2,892	590
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	2,150	2,892

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詰所電気料、水道料等 538,064円 ・ 詰所浄化槽維持管理検査委託料等 30,456円 ・ 5分団詰所用地賃借料 22,437円
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	自主防災組織の設置率									
	最終目標値	100						単位	%		
	実績値	平成24年度	47.4	平成25年度	88	平成26年度	100	平成27年度	100	平成28年度	100
	達成度	47 %		88 %		100 %		100 %		100 %	
2	指標	消防団員数									
	最終目標値	144						単位	人		
	実績値	平成24年度	138	平成25年度	111	平成26年度	120	平成27年度	122	平成28年度	121
	達成度	85 %		69 %		74 %		75 %		84 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	経済的・効率的に妥当であった。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5/6点	全事業が年度内に終了でき、事業展開としては妥当であった。ただし条例改正により団員数の定員を192人から144人へ変更したため、計画側の目標指標の見直しが必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	消防体制の充実、維持のためには現状維持で実施していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	消防器具置場、消火栓、防火水槽等消防施設の維持管理を適正に執行した。今後も、安全・迅速な消防活動を継続していく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

消防施設整備事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の消防防災体制の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区からの要望に基づき、老朽化した消火栓施設の交換や消火栓施設のない場所について整備を行う。 ・消防施設（消防団詰所等）について、不足する資機材等の整備を行う。 					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	6,480	275	168	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	2,344		23
	一般財源	4,135	275	145

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓用ボックス購入費等 168,750円
------	--------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		自主防災組織設置率									
1	最終目標値	100								単位	%
	実績値	平成24年度	47.4	平成25年度	88	平成26年度	100	平成27年度	100	平成28年度	100
	達成度	47 %		88 %		100 %		100 %		100 %	
	指標										
2	最終目標値									単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
3	最終目標値									単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
4	最終目標値									単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
5	最終目標値									単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										

【 担当者評価 】

評価基準			担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	消火栓ボックス等の購入費は受益者負担を徴収し、経費の削減を図っており、適正である。	
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切			
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切			
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	消防施設整備の充実はもちろんのこと、住民の防災意識の高揚、また、安心・安全な生活に寄与している。	
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切			
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切			
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	状況の変化に対応し、火災に対して迅速な消火活動が出来るようこれからも整備していく必要がある。	
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切			
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切			
総合点数		18/18点			

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	消火栓施設等整備について、必要に応じ適正に執行した。今後も、消防施設の整備及びその整備による地域の消防意識の向上は必要不可欠であるため、必要に応じた整備が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

防災体制整備事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
			○	○	改善	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の防災体制の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	今後発生が予想される災害から、地域住民の生命、身体及び財産を保護するため、防災に関する物資・資材の備蓄、整備及び点検並びに施設の整備を行う。 (災害用備蓄品購入費、燃料費、災害用保存食・水、災害用備品)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	4,094	1,810	4,375
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	4,094	1,810

【 事業実績 】

実施内容	<p>消耗品費（防災ヘルメット、土のう袋、毛布、女性用品、ほ乳瓶、紙おむつ、トイレ袋ほか）1,980,043円。食糧費（アルファ米、粉ミルク、保存水、パン、ビスケットほか）958,575円。通信運搬費（衛星電話通話料）190,602円。備品購入費（防災倉庫）1,246,320円。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	自主防災組織の設置率						単位	%
	最終目標値	100							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		100	
	達成度	%		%		%		100 %	
2	指標	消防団員数						単位	人
	最終目標値	144							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		121	
	達成度	%		%		%		84 %	
3	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%		%	
4	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%		%	
5	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点	災害用品の備蓄を最小の金額で購入をすすめた。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	期限品の入れ換え、品質の管理等を計画的にすすめた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		15/18点		

【 総合評価 】 評価者： 守屋敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	防災体制の整備として、備蓄品の購入、防災倉庫の設置等おおむね達成することができた。今後も災害発生に備え、住民の生命及び財産を保護するため、物資の備蓄及び施設整備等を行う必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

防災無線等維持管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の防災体制の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	防災行政無線の保守点検や維持管理費等を支出する。 (記録用紙、電気料、戸別受信機修繕、専用電話料、電波利用料、保守点検、戸別受信機購入、県防災情報システム負担金)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	3,113	2,886	14,318
財源内訳	国県支出金		
	地方債		11,301
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	3,113	2,886

【 事業実績 】

実施内容	<p>消耗品費（電波法令集追録ほか）13,183円。光熱水費（防災無線電気料）22,159円。修繕料（戸別受信機屋外アンテナ修繕1箇所）122,040円。通信運搬費（防災無線専用電話料）348,214円。施設管理委託料（無線設備保守点検委託料 無線機器・Jアラート）1,378,188円。備品購入費（戸別受信機30台）1,134,000円。負担金（県防災行政無線衛星系再整備事業）11,301,000円。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

	指標	自主防災組織の設置率									
1	最終目標値	100						単位	%		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	100
	達成度	%		%		%		%		100	%
	指標										
2	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
3	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
4	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
5	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	町防災行政無線の維持管理を最小限の費用で適切におこない、防災情報や町からのお知らせ放送に運用した。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	計画的な保守点検及び運用ができた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	防災行政無線として今後も継続する必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 守屋敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	防災情報や行政情報等を伝える手段として適切に運用することが出来た。今後も、住民への情報伝達手段として継続運用する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

交通安全対策事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	交通事故の防止を図り、町民の交通安全意識の高揚を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	交通安全啓発活動を行う「交通安全母の会」、「交通安全対策協議会」等への支援を行う他、一般交通安全対策を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	560	568	566
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他	98	
	一般財源	462	568

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通災害共済加入推進にかかる報償金 50,000円 ・ 全国交通安全運動立て看板等 46,868円 ・ 交通安全パトロール弁当代 20,000円 ・ 交通安全団体への補助金 442,500円
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町内の年間交通事故発生件数（人身事故）						単位	件			
	最終目標値	35										
	実績値	平成24年度	43	平成25年度	41	平成26年度	27	平成27年度	20	平成28年度	29	
	達成度	123 %		86 %		130 %		57 %		0 %		
2	指標											
	最終目標値											
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%			%			%			%	
3	指標											
	最終目標値											
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%			%			%			%	
4	指標											
	最終目標値											
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%			%			%			%	
5	指標											
	最終目標値											
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%			%			%			%	

【 担当者評価 】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	啓発品は、低価格で利用頻度が高いと思われる物を購入。配付場所、配付方法など効率的な方法で実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	総合振興計画に基づき交通安全関係団体が中心となって、各季の交通安全運動に合わせてキャンペーン、啓発活動を実施している。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	交通事故を防ぐため、地域の交通安全意識の高揚を図るため、今後も積極的な啓発活動が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	交通安全啓発事業、交通安全団体助成等適正に執行した。今後も交通事故死亡0を目指し、啓発等推進していく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

道路反射鏡設置管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	交通環境の整備を行い、交通事故を防ぐため。					
誰・何を (対象)	各区					
どんなことを ・どのように (内容)	町内の狭路、カーブ等の危険箇所カーブミラーを設置する。(新規設置については、主として区長の要望書に基づき行う)。既設置のカーブミラーについては、修繕等の維持管理を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	611	587	818
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	611	587

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路反射鏡修繕料 268,000円 ・ 道路反射鏡設置工事費(4基) 550,660円
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		町内の年間交通事故発生件数（人身事故）									
1	最終目標値	35						単位	件		
	実績値	平成24年度	43	平成25年度	41	平成26年度	27	平成27年度	20	平成28年度	29
	達成度	123 %		86 %		130 %		57 %		0 %	
指標											
2	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
3	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
4	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
5	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 道路反射鏡設置工事は単価契約を締結し、必要最小限の経費で実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 住民や区長等からの要望や、道路改良の際に現地調査を実施し、効果の見込める箇所に設置している。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 道路反射鏡の設置は、交通事故の危険性を減らし、事故防止の意識高揚にも寄与することからこれからも必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	道路反射鏡修繕・新設とも各区長の協力を得ながら、現地確認のうえ適正に執行した。今後も、交通事故防止に向け、必要に応じた修繕・新設が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

交通指導員設置事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策		①健全な行政経営の推進				
何のために (目的・課題)	町における道路交通の安全を保持し、交通事故を防止するため。					
誰・何を (対象)	交通指導員 10人					
どんなことを ・どのように (内容)	交通指導員の活動に必要な経費を支出する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,351	1,546	1,814
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,351	1,546

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通指導員報酬 1,248,000円 ・ 費用弁償 63,700円 ・ 制服等消耗品費 69,768円 ・ 備品購入費 380,150円 外
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町内の年間交通事故発生件数（人身事故）									
	最終目標値	35						単位	件		
	実績値	平成24年度	43	平成25年度	41	平成26年度	27	平成27年度	20	平成28年度	29
	達成度	123 %		86 %		130 %		57 %		0 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	交通指導員の報酬、費用弁償等は必要最小限の費用で実施しており、費用に対する効果も大きい。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	交通指導員の存在は立哨活動の際の直接的効果はもとより、視覚的な効果も高く、存在意義は大きい。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	交通指導員は、毎週金曜日の立哨活動、各期キャンペーンの街頭指導、各行事への出勤等多岐にわたっており、町の交通安全にとって非常に重要であり、今後もなくてはならない存在である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	交通指導員は交通指導隊を組織し隊長指揮の下、交通弱者を事故から守るため等、街頭監視を定期的に行うなど適正な活動を行った。今後も、全ての交通安全活動を実施するうえで交通指導員は必要不可欠である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

安心安全まちづくり事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	犯罪が発生しにくい環境を整備し、地域の防犯意識を高めるため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	秩父防犯協会等の活動に対する負担金を支出するとともに、町内自主防犯グループへの支援等により、防犯活動を実施する。外、28年度からの新規事業として、町内1箇所には防犯カメラを設置する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	429	400	755
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	429	400

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール用LED灯 23,331円 ・防犯カメラ設置工事費 342,252円 外
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
2	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
3	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
4	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
5	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	各団体負担金額は人口割、均等割により算出しており、適切である。また、警察や防犯協会等と緊密な連携を図っている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	犯罪の発生を未然に防ぎ、住民の防犯意識の高揚を図るためには各種団体との連携・情報共有は必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	住民や地域の防犯意識の高揚のため今後も積極的に事業を行い、犯罪を減らす必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	犯罪の無い安全安心なまちづくりのため、防犯組織との共同による啓発事業を適正に執行した。今後も、防犯の一翼を担う防犯組織への助成を継続し、啓発等を推進する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

防犯灯設置管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	夜間における犯罪が発生しにくい環境を整備するため。					
誰・何を (対象)	各区					
どんなことを ・どのように (内容)	夜間の犯罪・事故を防止するため、危険箇所への防犯灯の設置や既設置の維持管理（電球交換や電気料支払）を行う。また、各区が自ら設置する防犯灯に対し、区に設置費用の一部を補助する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	3,028	3,458	2,583
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	3,028	3,458

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯新規設置（6基） 132,192円 ・防犯灯電気料 2,236,565円 ・防犯灯修繕料 125,712円 ・区防犯灯新設補助金 43,700円 外
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		町内の年間犯罪発生件数											
1	最終目標値	40										単位	件
	実績値	平成24年度	821	平成25年度	832	平成26年度	837	平成27年度	858	平成28年度	25		
	達成度	99 %		100 %		101 %		103 %		0 %			
指標												単位	
2	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度												
指標												単位	
3	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度												
指標												単位	
4	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度												
指標												単位	
5	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度												

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	LED化を推進し、防犯灯の維持管理経費の削減を図っている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	防犯灯は視認性を高め犯罪を防ぐのみでなく、住民の安心、防犯意識の高揚につながっている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	住民からの要望に対して迅速に設置・修繕を行っている。これからも犯罪や事故の予防のためより一層の充実が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	各区長の協力を得て、防犯灯の維持管理、必要に応じた新設等を適正に執行した。今後も、安全安心なまちづくりのため、経費節減・環境に配慮した事業継続が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

人権行政推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	1 人権の尊重・平和意識の啓発					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	人権が尊重され、誰もが差別のない明るい生活を営める社会を実現するため。					
誰・何を (対象)	住民					
どんなことを ・どのように (内容)	人権教育・啓発のために関係機関と連携し、啓発物の配布や、あらゆる機会をとらえて研修会・講演会を開催するなど人権尊重意識の高揚を図る。 (人権問題研修会、人権の花運動、男女共同参画講演会等)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	575	1,200	444
財源内訳	国県支出金	16	10
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	559	1,200

【 事業実績 】

実施内容	<p>○事業内容 ・ 人権問題研修会 (3/3実施、85名参加) 90,750円</p> <p>・ 人権の花運動 (10月～12月実施、横瀬小学校児童450名を対象ピオラ苗200苗を配布) 17,000円</p> <p>・ 男女共同参画講演会 (12/17実施、360名参加) 30,000円</p> <p>その他、出張旅費等</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	人権教育研修会・講演会の参加者数						単位	人		
	最終目標値	660									
	実績値	平成24年度	497	平成25年度	453	平成26年度	687	平成27年度	750	平成28年度	445
	達成度	58 %		53 %		80 %		87 %		67 %	
2	指標	審議会などの女性委員割合						単位	%		
	最終目標値	25									
	実績値	平成24年度	15.9	平成25年度	16	平成26年度	16.4	平成27年度	17	平成28年度	38
	達成度	80 %		80 %		82 %		85 %		152 %	
3	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		総合評価
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	総合計画に基づき長期的、継続的に事業を進める必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	4/6点	町民の人権に関する意識調査結果を参考に更に地域の実情にあった事業に取り組む必要がある
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1点：概ね適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 守屋 敦夫

今後の方針	現状維持
総合評価	関係機関と連携をして、研修会の開催など人権啓発を適正に執行した。今後も、心理的差別や新たな差別を解消するため、当該事業を継続していくことが必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

鉄道事業者への要望活動事務		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	2 道路・交通網の整備					
その他の関連する施策	①高齢者福祉の充実 ②町民交流の推進					
何のために (目的・課題)	快適な通勤・通学環境の創出や鉄道のバリアフリー化を促進し、生活の豊かさを実感できる地域社会を実現するため、鉄道事業者に対して要望活動を行う。					
誰・何を (対象)	鉄道事業者					
どんなことを ・どのように (内容)	鉄道利用者の利便性を向上する事項などを鉄道事業者に要望する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	<p>要望内容(継続) 通勤急行及び直通列車の運行、芦ヶ久保駅舎の改修、横瀬駅での定期券購入、横瀬駅ホーム屋根の増改築、土日休日の快速急行運行、最終列車の繰り下げ、特急電車の停車(芦ヶ久保)、AED設置、検車区の跡地利用、特急の自由席導入及び特急定期券導入、秩父鉄道のIC乗車券導入</p> <p>(新規) 横瀬駅構内へのコンビニ設置、横瀬駅構内での出張販売</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		鉄道事業者への要望件数（累計）											
1	最終目標値	40										単位	件
	実績値	平成24年度	32	平成25年度	33	平成26年度	46	平成27年度	13	平成28年度	72		
	達成度	160 %		165 %		230 %		65 %		180 %			
指標												単位	
2	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
指標												単位	
3	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
指標												単位	
4	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
指標												単位	
5	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		コメント
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	4/6点	
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	輸送需要等との関係で、要望事項の実現化が難しいが、継続的な要望により実現可能性を高める必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	鉄道（特に西武鉄道）は都心部と当町を繋ぐ重要なインフラであり、町民の利便性の向上のために、永続的に要望活動は必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	拡大
総合評価	埼玉県を通じてではあるが、地方創生、町の活性化に有効と思われる鉄道事業を要望することができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

通勤費助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	まち経営課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	3 居住環境の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	移住・定住促進及び西武鉄道利用促進					
誰・何を (対象)	西武鉄道を利用して通勤している新規学卒者・転入者					
どんなことを ・どのように (内容)	西武鉄道を利用して通勤している新規学卒者及び転入者に通勤費の一部を助成する。 月/5,000円上限					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			165
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	<p>助成件数 6 件 総助成額 165,000円</p>
------	--------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
2	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
3	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
4	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
5	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	3/6点	助成金があることで一時的に町内からの通勤を選択する住民は一定数存在する。ただ、助成金の交付は12ヶ月間に限られるため、期間終了後の定住に向けた対応や他事業と絡めた取り組みを検討する必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	4/6点	横瀬町地方創生総合戦略・基本戦略2「住みたくなる訪れたくなるまちづくり」において、交通利便性の確保を図る主な事業として定められている。ただし、長期的な効果はあまり見込めないと考える。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	4/6点	当事業があることで移住・定住に踏み込むというよりも、既に移住・定住の意思を持つ住民の中で要件に該当する方が助成金を交付されているのではないかと考える
	目標達成され必要性が薄れていないか	1点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		11/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	拡大
総合評価	事業初年度、町民6人の遠距離通勤を支援することができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

同窓会応援事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	まち経営課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	3 居住環境の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町内へのUターンを図るため					
誰・何を (対象)	住民等					
どんなことを ・どのように (内容)	町内で開催される20人以上が参加する同窓会の経費の一部を補助する(上限5万円) 町民1人×1,000円 町民外 1人×2,000円を補助					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			509
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	補助件数11件 総補助額509,000円
------	-------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	5/6点	同級生との再会による郷土愛の醸成は、転出者のUターンへと繋がる効果的な手段である。また、町のPRパンフレット・チラシの配布による情報提供（主にふるさと納税）により、他事業と連携した。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	横瀬町地方創生総合戦略・基本戦略2「住みたくなる訪れたくなるまちづくり」において、新たなつながりの創出～よこぜ愛、誇りを高める～を目的とした主な事業として定められている。継続して実施していくことで転出者と在住者と町とのつながりを守り、定住やUターンの
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	利用者からの意見からは、当事業自体が同窓会を開く「きっかけ」となっているとパターン、もともと開催予定があったところで当事業を活用したパターンが見受けられた。事業の必要性、ニーズは今後もなくなることはないと考えられるため継続的に実施する必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	拡大
総合評価	11組の同窓会に資金援助できたことから、町内外に離れている同郷の友が旧交を温め、郷土愛を強めていただいたものと思われる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

25歳の成人式事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	まち経営課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	3 居住環境の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町内へのUターン促進のため					
誰・何を (対象)	25歳の町民及び町内出身者					
どんなことを ・どのように (内容)	町内と町内出身者のつながりを強化するため社会人としてある程度の経験を積んで来たと思われる25歳という年齢で成人式を実施し、横瀬町の魅力を再発見してもらい、出身地への愛着を持ってもらうことでUターンにつなげる。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			53
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	<p>8月13日(土)旧芦ヶ久保小学校において、25歳の成人式実施。卒業生44名及び当時の教師5名が参加。参加者のうち20名程度が現在は町外の方であり、改めて横瀬町に愛着を持ってもらう機会となった。案内はがき代：14,768円、記念写真：5,616円、飲料水、抽選会景品：26,930円、横断幕：6,000円</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点 最小限の経費で実施することができた。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 まだ目に見える効果はないかもしれないが、今後横瀬に帰ろうという意識が芽生えることを期待して実施している。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 参加者からは概ね好評をいただいている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	人口減少を抑制し、将来に備えるための施策であり、最小限の費用で同郷者の絆を強め、Uターン者を増やし、町外に居住する町の支援者を増やす効果が期待できる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

ホームページ運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	老若男女を問わず、あらゆる人々が必要な情報を享受できる環境を充実し、情報の共有を進め、開かれた行政運営と町民参画を推進させることにより、町民の利便性向上に資する。また、町外への情報発信の有効手段として活用し、町のPRを行う。					
誰・何を (対象)	利用者					
どんなことを ・どのように (内容)	適切かつ積極的な行政情報を提供するため、各課所において更新・設定等を行い、適時の情報提供を図る。また、バナー広告を利用して財源を確保する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	155	274	311	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	16	72	96
	一般財源	139	202	215

【 事業実績 】

実施内容	<p>ホームページの適正な運営のため以下を支出した。</p> <p>Web管理ツール保守料 12,000円 × 12か月 × 1.08 155,520円</p> <p>サーバー使用料 12,000円 × 12か月 × 1.08 155,520円</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		町ホームページの年間アクセス数											
1	最終目標値	100,000										単位	件
	実績値	平成24年度	73,503	平成25年度	92,981	平成26年度	90,717	平成27年度	124,069	平成28年度	139,109		
	達成度	120 %		152 %		148 %		203 %		139 %			
指標												単位	
2	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
指標												単位	
3	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
指標												単位	
4	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
指標												単位	
5	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			

【 担当者評価 】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	事業費はホームページを維持・運営するための必要最小限の経費である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	町の情報提供の媒体として、よりタイムリーな情報を継続的に提供する必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	利用者に正確で最新の情報を提供することは重要。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	町の豊富な情報や防災情報等の緊急を要する情報等の発信に対応できるため、その機能を発揮する活用ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

集団広聴事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町民の豊富な経験と知恵を活かした建設的な意見、提案等を町長が直接町民と対話し、町民の意見を町政に反映させ、町民参加の拡大を図りながら、住みよいまちを創造していく。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	町政懇談会「町民と語る会」を2会場で実施する。また、小学6年生(各クラス4名)が参加する子ども懇談会及びその他各年代層の町民との懇談会を実施する。これらの機会を通して、よりよいまちづくりを進めるための意見や提案を聴く。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	23	6	8
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	23	6

【 事業実績 】

実施内容	<p>町政懇談会、子ども懇談会を実施。飲み物等を購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども懇談会参加者記念品(図書カード) 500円×8人分 4,000円 ・子ども懇談会ほか お茶代 4,440円
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

	指標	公聴会の参加者数											
1	最終目標値	170										単位	人
	実績値	平成24年度	92	平成25年度	128	平成26年度	115	平成27年度	205	平成28年度	235		
	達成度	54 %		75 %		68 %		121 %		138 %			
	指標												
2	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
	指標												
3	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
	指標												
4	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
	指標												
5	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	各年代の町民の要望等を聞くことにより、町政へ町民の声を反映することができた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	参加者のアンケート等から、適切に実行できていると判断した。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	町民の豊富な経験や知恵を町政に反映させるために、集団広聴の場を設け意見を聴取する当事業が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	町政に町民の意見を取り入れる必要から、子ども懇談会で小学生との意見交換、町政懇談会で町民との意見交換を行ったほか、子育て中の町民の意見を聴く機会を設けた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

個別広聴事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	開かれた町政の実現のため、多様な住民ニーズをきめ細かく収集し町政運営に活かしていく。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	町長へのFAX、Eメール、手紙、意見箱、陳情・要望・要請により、住民ニーズ等を把握するとともに、貴重な意見・要望・提案等を町政に反映させる。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	<p>以下のとおり受け付け、町政に反映すべきか研究した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長へのE-mail 33件 ・手紙 6件 ・意見箱投書 8件
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	公聴会の参加者数										
	最終目標値	170						単位	人			
	実績値	平成24年度	92	平成25年度	44	平成26年度	115	平成27年度	205	平成28年度	235	
	達成度	54 %		26 %		68 %		121 %		138 %		
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	より多くの町民から町政に対する意見や提案を聴取するため、町長への意見箱やE-mail等の制度を広報媒体を通じて周知していく必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	行政が情報公開や説明責任に努め、行政への住民参加を促進し、住民と行政がともに考え、ともに役割を担う「協働」によるまちづくりを進めるため妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	住民と行政が協力してまちづくりを行うため、引き続き広く町民から意見や要望を聴取していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	町民等から届いた声に対しては、担当課所と連携しながら、内容を吟味したうえで求めに応じた対応ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

地域パワーアップ助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策	①町民参画の推進 ②健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	地域における積極的なコミュニティ活動を支援するため。					
誰・何を (対象)	地域づくり団体 200団体					
どんなことを ・どのように (内容)	①新規に組織された団体の地域づくり活動 ②既存団体の地域の特色を活かした新規の地域づくり活動 ③既存団体の既存活動をグレードアップする地域づくり活動に対して、50万円を限度に助成する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	787	103	199
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	787	103

【 事業実績 】

実施内容	<p>助成件数3件 助成総額199,000円 大堀川除草作業(川西コミュニティクラブ)10,000円、現役大学生と一緒に勉強しよう!(yokoze oh!世っ会)10,000円、高齢者の大豆づくり体験活動(よこぜふれあい大豆畑の会)89,000円</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	きずなねっと登録団体数					単位	団体			
	最終目標値	78									
	実績値	平成24年度	49	平成25年度	51	平成26年度	53	平成27年度	52	平成28年度	52
	達成度	63 %		65 %		68 %		66 %		67 %	
2	指標	コミュニティ活動者の割合					単位	%			
	最終目標値	75									
	実績値	平成24年度		平成25年度	52.8	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	0 %		70 %		0 %		0 %		0 %	
3	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 対象となる事業に対して、必要な額の助成を行なうことができた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 全対象事業が年度内に終了でき、事業展開としては妥当であった。助成金の主要な目的である助成団体の立ち上げ時期の支援を行なうことで、団体の自走へと繋げることができた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 住民ニーズに概ね応えられた。今後も、新たに地域づくり活動をする団体の創設による地域活性化を目指し、助成件数を増やしていくことが必要。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	町内で社会貢献活動を行う草創期の団体に対し、その初期段階の経済支援を行うことで、その後の自立活動実現をめざす補助金。平成28年度は3団体に交付したが、予算額の60%を不用額としてしまった。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

コミュニティ助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策	①町民参画の推進 ②居住環境の整備					
何のために (目的・課題)	コミュニティの健全な発展のため。					
誰・何を (対象)	コミュニティ団体 200団体					
どんなことを ・どのように (内容)	(財)自治総合センターによる助成制度。 ①助成事業及び助成額 1)一般コミュニティ助成 2)緑化推進コミュニティ助成 3)自主防災組織育成助成 4)コミュニティセンター助成 5)青少年健全育成助成 ②事業実施主体 1)町 2)コミュニティ団体 等					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	2,500	2,500	1,800	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	2,500	2,500	1,800
	一般財源			

【 事業実績 】

実施内容	実施団体：横瀬町第2区 事業内容：除雪機3台及び掲示板1基の整備 助成額：1,800,000円(自治総合センターより町へ同額の助成あり)
------	----------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	4/6点 財源は、宝くじ助成を活用し100%補助を受けているので、町の費用は最小限である。今後、メニューによっては様々な事業に該当するため、検討する必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	0点：不十分	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 要望に基づいて、事業展開を実施しているが、今後、計画的に実施することも検討する必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 当助成事業によって、自主的・積極的なコミュニティ活動の展開ができるとともに、コミュニティ意識がより一層高揚されることから、必要性は非常に高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	財源が宝くじの売上金であり、町財政に負担かけることなく行政区の設備整備等に役立てられることから、平成28年度も1事業を実現できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

官民連携プラットフォーム構築事業（地方創生加速化交付金 H27繰越事業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	人口減少を抑制し、より住みよい町、より誇れる町をつくるため、地方創生加速化交付金を活用し、横瀬町「まち・ひと・しごとの駅（官民連携プラットフォーム）」を構築します。					
誰・何を (対象)	町民・民間企業・NPO					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬町「まち・ひと・しごとの駅（官民連携プラットフォーム）」では従来の総花的に情報を発信するサイトではなく、新たな活動を始めたいと考えている企業等に的を絞ったWEBサイトを作成し、アイデアを募集し、「しごと」を創出していく。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			27,674
財源内訳	国県支出金		27,600
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	<p>官民連携プラットフォームを構築し、9月30日より運用を開始した。23件の提案受付 12件採用 ワーキングスペースとして旧芦ヶ久保小学校のネットワーク環境等の整備を行った。 委託料：26,604,168円、備品購入費：675,075円、工事請負費：176,472円、需用費：150,359円、旅費等：68,765円</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 国からの補助金を活用し、効果的に実施できた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5/6点 現在実施することで長期的な効果が期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 町が今後発展するためには必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	廃止
総合評価	特定財源の活用により、町の一般財源をほぼ使わずに官民連携プラットフォーム、及び提案から採用決定までの事務処理の流れ・制度づくりをすることができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

タウンプロモーション事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	3 町民参画の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	対外的に町の魅力をプロモーションをし、また、ワンストップの移住相談窓口を設置し移住者の増加を図る。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	町の魅力プロモーションのため、チラシの作成・配布、各種のイベントへの出展等を実施する。 まち経営課へ移住相談窓口の設置及び道の駅へ移住専用ブースを設置し横瀬町への移住をPRする。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			810
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		700
	一般財源		110

【 事業実績 】

実施内容	役場庁舎へワンストップ移住相談窓口設置及び道の駅へ移住専用ブースを設置 70,416円 移住パンフレット印刷 (5,000部) 718,200円
------	-----------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

	指標	町ホームページの年間アクセス数						
1	最終目標値	100,000					単位	件
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	139,109	
	達成度	%	%	%	%	139	%	
2	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
3	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
4	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
5	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 補助金を活用し、効果的に事業を実施できた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5/6点 移住をすすめて行くためにはパンフレットや情報発信の場は必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 人口を維持するためには移住者を確保することが必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	補助事業の活用により、町の一般財源を最小限とした事業実施により相応の効果が得られた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

旧芦ヶ久保小学校施設管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
			○		継続	まち経営課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	1 健全な行政経営の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	今後、さまざまな分野で活用できるように、廃校後の芦ヶ久保小学校の施設を適正に維持管理する。					
誰・何を (対象)	旧芦ヶ久保小学校					
どんなことを ・どのように (内容)	廃校後の芦ヶ久保小学校について、常時管理しないと老朽化が進みやすいため、委託等により定期的に清掃を行うなど、適正に管理する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,884	2,064	2,191
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,884	2,064

【 事業実績 】

実施内容	<p>フィルムコミッション等による貸出件数も増加傾向にあり、効率的な管理・運営を図るため、町観光・産業振興協会に管理業務を委託した。また、適正な管理のため、警備委託、消防用設備等保守点検業務、浄化槽維持管理業務、蜂の巣駆除業務等を委託にて実施したほか、電気設備絶縁改修工事を行った。</p> <p>管理業務委託料：1,240,031円、電気設備絶縁改修工事費：272,252円、警備委託料：116,748円</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	4/6点 フィルムコミッション等による貸出件数が増加傾向にあり、観光事業との連携も増えてきていることから、今後、維持修繕費用や人件費（管理委託料）の増加が見込まれる。貸出増に伴う予約対応等の事務負担の増大に対応するため、より効率的な管理体制を構築したい。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 横瀬町地方創生総合戦略の指針の一つ「若者求心力の創出」の実現のため、若者が集うまちづくりという視点から若者向けコンテンツの撮影スポットとして活用することは大変有効である。遊休施設の有効活用という視点からも、引き続き積極的な活用を図りたい。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 廃校の有効活用は全国的にも注目される分野であり、撮影のための貸出は需要が高まりつつある。特に、コスプレ撮影での利用は口コミ等により増加傾向にあるほか、リピート利用も多く、地元の宿泊施設への誘客にも寄与している。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	拡大
総合評価	コスプレや映画撮影等の利用は増える傾向にあるが、当該年度整備したWi-Fi環境を活用しての利用実績が伸びていない。施設の老朽化にどれだけ対応できるかが課題。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

行政評価推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	1 健全な行政経営の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	効率的で質の高い行政運営を実現し、住民への十分な説明責任を果たす。					
誰・何を (対象)	平成27年度実施事務事業					
どんなことを ・どのように (内容)	町が実施する事務事業を「横瀬町行政評価マニュアル」に基づき、客観的な指標等を用いて適切に評価する。(財務会計システムサブシステム使用)					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	担当者評価、課所長評価実施：111事務事業 最終評価（行政評価委員会評価）実施：5事務事業（拡大1、一部改善3、廃止1）
------	-----------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	後期基本計画各施策目標値の達成									
	最終目標値	55					単位	指標			
	実績値	平成24年度	30	平成25年度	36	平成26年度	平成27年度	34	平成28年度		
	達成度	60 %		72 %		0 %		68 %			
2	指標	財政指標（経常収支比率）									
	最終目標値	86					単位	%			
	実績値	平成24年度	87.7	平成25年度	87.1	平成26年度	87.5	平成27年度	85	平成28年度	88.8
	達成度	102 %		99 %		98 %		101 %		0 %	
3	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	4/6点	類似したデータを入力する作業と共同で実施でき、効率的ではあった。
	効率的な手段・方法であるか	0点：不十分		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	3/6点	H28年度は111事業を評価対象事業としたが、今後も評価が可能な事業や方法について検討をする必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	0点：不十分		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	0点：不十分	1/6点	実施事業を評価することは、健全な行財政運営につながることから、本事業の実施は必要ではあるが、形式的なものになってしまっている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	0点：不十分		
	町の将来にとって必要な事業か	1点：概ね適切		
総合点数		8/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	縮小
総合評価	新たな事務事業が次々増えていく中、限られた時間と職員数で行政サービスの水準を維持するには事業の選択と集中が必要で、そのための事業廃止に踏み切る決断の根拠として有効に活用すべきであるが、括かききれていない。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

ふるさと納税事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	まち経営課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	1 健全な行政経営の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	ふるさと納税制度を通じて町外の方から寄附をしていただく。					
誰・何を (対象)	ふるさと納税者					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬町に対して、ふるさと納税をしていただいた方(10,000円以上の寄附)に横瀬町の季節の特産品を送付する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	20	37	5,518
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	20	37

【 事業実績 】

実施内容	<p>ふるさと納税寄附金納付者に対し、返礼品を贈った。(返礼品贈答件数：340件) 事務処理負担の軽減及び寄附者の利便性の向上を図るため、ふるさとチョイス及びヤフー公金支払いシステムを活用した。 寄附金の一部を人材育成事業に活用するため、国際交流基金に積立てた。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	返礼品は、総務省通知に則った金額内で、町内の特産品を主として用意することができた。また、「ふるさとチョイス」の導入により、多様な決済方法で寄附を受けられる体制を構築できた。移住定住促進パンフレットにふるさと納税を盛り込むなど、PRも効率的に行えた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	今後も、横瀬町地方創生総合戦略に掲げる「住みたくなる訪れたくなるまちづくり」のため、郷土愛の醸成や町への定住につながる施策を。返礼品の開拓は、地元事業者の販売促進にもつながるため、地域経済の活性化にとっても重要な要素である。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	今後は、返礼品（モノ）だけでなく、魅力的な事業（コト）に対する賛同の証として、ふるさと納税をいただけるような事業展開がますます重要となってくると思われる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	拡大
総合評価	ふるさと納税専門Webサイトに登録、返礼品の拡充等の対応を行い、前年度の31万円から524万円に大幅に伸ばすことができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

ちちぶ定住自立圏形成協定事務		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	2 広域連携の強化					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	1市4町（横瀬町、秩父市、皆野町、長瀬町、小鹿野町）で構成する「ちちぶ定住自立圏」域内の人々の生活機能を圏域全体として確保するとともに、圏域外の人を定住させるため、行政サービスを広域的に充実させる。					
誰・何を (対象)	ちちぶ定住自立圏を構成する1市4町					
どんなことを ・どのように (内容)	ちちぶ定住自立圏域内の生活機能、結びつきやネットワーク及び圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野の中から、それらを実現するための取組項目について協定を締結する。また、各種協定項目事業の経費の負担金を支払う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	14,271	14,302	13,716
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	14,271	14,302

【 事業実績 】

実施内容	定住自立圏負担金（包括支援分）：13,716,000円
------	-----------------------------

【 目標指標 】

1	指標	広域連携強化の満足度（定住自立圏構想の推進など）											
	最終目標値	60										単位	%
	実績値	平成24年度	19	平成25年度	19	平成26年度	19	平成27年度	19	平成28年度			
	達成度	106	%	106	%	106	%	106	%	0	%		
2	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度		%		%		%		%		%		
3	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度		%		%		%		%		%		
4	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度		%		%		%		%		%		
5	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度		%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	中心市である秩父市を中心に、特定財源の確保、推進委員会、幹事会、ワーキンググループなど1市4町での組織化など円滑な運営をしている。なお、特別交付税措置額に応じた額を負担している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	H28年度は新規協定項目はなかったが、共生ビジョンの改訂版策定、公共施設の共有・水道広域化・子育て支援等について検討を実施した。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	広域的な行政サービスの提供・向上のために必要不可欠な事務である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	1市4町の合意で策定した共生ビジョンに基づき活動した。事業費用は、各市町に特別交付税で措置される。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

収税事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○	○	改善	税務会計課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	1 健全な行政経営の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町税の適正な収納処理、自主財源確保のため効率的な滞納整理の実施。					
誰・何を (対象)	納税義務者（現年課税分） 11,000人					
どんなことを ・どのように (内容)	納税者が金融機関窓口、コンビニエンスストア及び口座振替により納付された町税の収税処理。滞納処分のため督促状の発布及び集合催告書の発布。口座振替のための口座管理。収税消込の電算処理委託。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	4,236	4,165	4,299
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	4,236	4,165

【 事業実績 】

実施内容	<p>町税の収納処理及び滞納整理に係る督促状等の発送を実施した。</p> <p>口座振替件数(9,674件)、コンビニ収納件数(5,168件)、督促状発送(住民税588件・固定税1,692件・軽自税538件)、催告書発送(集合(年3回)1,180件・県共同66件・現年154件)、休日徴収(2回・131件)、夜間徴収(24回・233件)</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		財政指標（経常収支比率）								
1	最終目標値	86.1						単位	%	
	実績値	平成24年度	87.7	平成25年度	87.1	平成26年度	87.5	平成27年度	平成28年度	88.8
	達成度	102 %		101 %		98 %		0 %		
2	指標									
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
3	指標									
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
4	指標									
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
5	指標									
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
達成度		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	各帳票の管理、納付書の発送、徴収方法の検討等、常に徴収経費の節減に努め、賦課事業との連携を図りながら実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	現年課税分については、新たな滞納を発生させないため年度内の徴収強化を進めている。滞納繰越分については、差押えの強化や処分停止の検討等、収納率向上のため今後の方向性を定め計画的な滞納整理を検討している。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	口座振替やコンビニ収納により納税者の納税しやすい環境を整え、収納率向上に努めている。本事業は、自主財源確保のため必要不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 洋

今後の方針	現状維持
総合評価	<p>収税事業は自主財源確保に最も重要な事業である。口座振替、コンビニ等による収納事務、及び消込事務等の収納管理、並びに督促状、催告書の発送、財産調査等の滞納管理を適切に実施した。昨年度に比べ収納率は0.5%上回り、収納額は約2,700万円増額することができた。今後も納税環境の整備を図るとともに、滞納処分に係る調査等を積極的に実施し、効率的な収税活動を行う必要がある。</p>

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

新婚世帯家賃補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	いきいき町民課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	若年層の居住促進と少子化の緩和を図るため。					
誰・何を (対象)	町内に住む40歳未満で婚姻2年未満等の新婚夫婦。					
どんなことを ・どのように (内容)	婚姻の届出後2年未満で、かつ年度の末日において夫婦いずれもが40歳未満であり、滞納等のない世帯に対し、実質家賃額の2分の1の額を補助する。(1万円を限度) 補助期間は12ヶ月間とし、上半期は9月、下半期は3月にまとめて支給。年度をまたぐ場合は、4月に再申請する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,860	1,144	974
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,860	1,144

【 事業実績 】

実施内容	<p>新婚世帯家賃補助申請者17世帯に対し実質家賃額の1/2(1万円を限度)を補助した。</p> <p>【内訳】 申請件数 21件(内平成28年度補助件数17件) 交付総額974,000円</p> <p>交付月数 のべ98月(内訳 92月×10,000円=920,000円 6月×9,000円=54,000円)</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900						単位	人		
	実績値	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395	平成27年度	14,653	平成28年度	16,423
	達成度	77 %		88 %		78 %		92 %		103 %	
2	指標	子ども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230						単位	人		
	実績値	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060	平成27年度	1,016	平成28年度	
	達成度	91 %		88 %		86 %		83 %		0 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点	年間で120,000円(月額10,000円)の補助となるため、若年層の居住促進の一端を担っていると思われる。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5/6点	利用者の拡大を図るため、チラシを新たに作成し、転入時や婚姻届提出時に配付、説明するなど申請漏れのないよう説明の徹底が図れた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	若年層の経済的支援においてはニーズに合っていると思われるが、今後さらに対象年齢の拡大や補助終了後の定住促進に繋げるため、空き家バンク事業や子育て支援事業等とも連携を図っていく必要があると思われる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 玲子

今後の方針	一部改善
総合評価	補助金交付要綱に基づき適切に執行した。補助金交付対象者が7/27世帯(H27.5~H28.3)転出していることから、流出防止や定住としての効果は小さいと考える。若年層の居住支援に一時的になっているが、人口減少・少子化対策に資するための長期定住の視点から、より定住に結びつく他の事業との連携や移行を模索する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

特定健康診査等実施事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	いきいき町民課（国保）
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①社会保障制度の充実					
何のために (目的・課題)	国保被保険者の健康の保持・増進及び疾病の予防・早期発見のため。					
誰・何を (対象)	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者					
どんなことを どのように (内容)	各医療保険者は特定健康診査等実施計画に基づき、40歳から74歳の国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査を義務として実施する。内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）およびその予備群の発見に着目した検査を行い、そこでその該当となった方や予備群となった対象の方に特定保健指導を実施する。なお、平成29年度まで特例措置が延長されることに鑑み、平成29年度実施計画策定に伴う平成30年度以降の実施については要検討。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	4,668	5,086	5,716	
財源内訳	国県支出金	4,166	4,091	2,030
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	502	995	3,686

【 事業実績 】

実施内容	<p>特定健康診査は、町内各施設を会場とする（7月～10月にかけて12回、464人受診）集団健診及び契約機関での個別健診（76人受診）の2方式で実施した。また、診療情報提供事業（特定健康診査の受診と見なされる）により42人分のデータを取得した。</p> <p>特定保健指導は、動機付け支援対象41人、積極的支援対象8人に実施した。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	特定健康診査受診率					単位	%			
	最終目標値	60									
	実績値	平成24年度	27.3	平成25年度	26.5	平成26年度	26	平成27年度	37.3	平成28年度	39.3
	達成度	42 %		40 %		45 %		75 %		62 %	
2	指標	特定保健指導実施率					単位	%			
	最終目標値	60									
	実績値	平成24年度	5.62	平成25年度	1.7	平成26年度	19	平成27年度	37	平成28年度	57.5
	達成度	13 %		4 %		40 %		74 %		62 %	
3	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点 健診の実施には専門性を求められるため、秩父郡市医師会に業務委託している。なお、基準額の3分の2に対し、国県の負担金を投入することができる。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 第2期特定健診等実施計画（25年度～29年度）に基づき実施している。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 被保険者の利便性を考慮した事業展開を行っているが、受診率、実施率とも未だ目標を下回っている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		15/18点	

【 総合評価 】 評価者： 大場 玲子

今後の方針	一部改善
総合評価	生活習慣病やその他疾病の早期発見、早期治療及び予防に繋がっているが、受診率、保健指導実施率はともに目標値には届いていない。町民の健康保持・増進を図る観点から、引き続き未受診者への受診勧奨の強化とともに、受診率向上へ向けた対象者の精査、事業主健診との連携等、新たな方策を検討する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

総合福祉センター管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進 ②防災・消防体制の充実					
何のために (目的・課題)	高齢者の福祉の増進を図り、町民の健康保持及び増進を図るため。					
誰・何を (対象)	総合福祉センター					
どんなことを ・どのように (内容)	管理運営を指定管理者に委託し、多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応し、経費の節減等を図る。 また、土地の賃借料を支払う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費		15,956	16,589
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		15,956

【 事業実績 】

実施内容	<p>指定管理料：平成28年度分 14,720,000円のうち、精算金（返戻金）255,447円あり。 実績額 14,464,553円 施設借地料：2件分 2,124,912円</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	健康寿命						単位	歳
	最終目標値	84.2							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		83.16	
	達成度	%	%	%	%	99	%		
2	指標	総合福祉センターの年間利用者数（町内60歳以上利用者）						単位	人
	最終目標値	13,300							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		12,320	
	達成度	%	%	%	%	93	%		
3	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			
4	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			
5	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 3ヶ年の「横瀬町総合福祉センター管理業務事業計画書」及び「協定書」に基づき、適切な指定管理に係る経費を支出した。又土地の賃借料についても適切に支出した。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 3ヶ年の事業計画、協定書に基づき、適切に実施できた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 施設を維持するために今後も必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	横瀬町総合福祉センター管理業務事業計画に基づき、指定管理者により適切な管理運営が行われ、高齢者の福祉の増進及び健康保持が図られた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

総合福祉センター施設等整備事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進					
何のために (目的・課題)	高齢者の福祉の増進を図り、町民の健康保持及び増進を図るため。					
誰・何を (対象)	総合福祉センター					
どんなことを ・どのように (内容)	老朽化した設備の改修及び備品の入替等を行う。また、総合福祉センター管理運営事業以外で実施する修繕等を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	12,072	35,417	939
財源内訳	国県支出金	7,034	
	地方債		31,500
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	5,038	3,917

【 事業実績 】

実施内容	施設改修工事：① 地下タンク埋設配管（通気管）改修工事 799,200円 ② 非常用電源増設工事 140,400円
------	-----------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	健康寿命						単位	歳
	最終目標値	84.2							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		83.16	
	達成度	%		%		%		93 %	
2	指標	総合福祉センターの年間利用者数（町内60歳以上利用者）						単位	人
	最終目標値	13,300							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		12,320	
	達成度	%		%		%		93 %	
3	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%		%	
4	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%		%	
5	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	老朽化してきている施設を維持するために必要な改修工事等を適切に行った。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	施設の維持のため、必要な改修工事等を行うことができた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	老朽化してきている施設の維持管理のため、必要な改修等を行うことができた。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	総合福祉センターの効率的・効果的な運営のため必要な事業を行うことができた。今後も高齢者福祉のため施設の整備・修繕が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

老人クラブ連合会補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	老人クラブ連合会運営の活性化及び単位クラブ活動の促進を図るため					
誰・何を (対象)	老人クラブ連合会					
どんなことを ・どのように (内容)	老人クラブ連合会に対し、連合会運営の活性化及び単位クラブ活動の促進を図るために補助金を交付する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	910	910	910	
財源内訳	国県支出金	188	186	185
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	722	724	725

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●連合会運営費：350,000円 ●単位クラブ分：560,000円 (80,000円×7クラブ) <p><内訳>①運営費分：280,000円 (40,000円×7クラブ) ②花いっぱい事業費分：210,000円 (30,000×7クラブ) ③町内美化運動事業費分：70,000円 (10,000×7クラブ)</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	健康寿命					単位	歳
	最終目標値	84.2						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	83.16	
	達成度	%	%	%	%	99	%	
2	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
3	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 連合会運営の活性化及び活動の促進を図るために必要であり、適切。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 少子高齢化が進む中、高齢者が生きがいをもって生活するうえで重要である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 少子高齢化が進む中、高齢者が生きがいを持って生活するうえで重要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	老人クラブ連合会及び各地区クラブの支援を通じ、組織の活性化及び活動の促進に寄与できた。高齢者が心身共に元気で住み慣れた地域で生きがいのある生活を送るため必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

シルバー人材センター補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	高齢者の豊富な知識と経験を活用し、働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献できるよう、シルバー人材センターに補助を行う。					
誰・何を (対象)	シルバー人材センター					
どんなことを ・どのように (内容)	シルバー人材センターの運営費及び事業費に対し、財政的に支援するため、補助金を交付する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	5,900	5,900	5,900
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	5,900	5,900

【 事業実績 】

実施内容	<p>横瀬町シルバー人材センターへの助成金交付 前期 2,950,000円 後期 2,950,000円 平成28年度シルバー人材センター実績①会員数130名(男性93名、女性37名)②受託件数：1,111件③契約金額68,452,186円 ④就業延人数：14,074名⑤就業実人員：108名⑥就業率：83.1%</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

	指標	健康寿命						
1	最終目標値	84.2					単位	歳
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	83.16	
	達成度	%	%	%	%	99	%	
2	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
3	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
4	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
5	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 就業を通じて生きがいのある生活を送っていただくうえで必要であり、適切。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 今後増加していくことが確実な高齢者に対して、就業を通じて生きがいのある生活を送っていただくことで、地域活性化につながる。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 今後増加していくことが確実な高齢者が、就業を通じて、他者とコミュニケーションを図り、地域に貢献することで地域活性化につながる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	運営費等に対し支援をしているが、高齢者の生きがい支援に結びついている事業である。今後も働くことによる生きがいのある生活に結びつく事業を継続する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

在宅福祉事業（高齢者福祉関連事業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	在宅で生活する高齢者福祉の増進を図る。					
誰・何を (対象)	在宅で生活する65歳以上の高齢者					
どんなことを ・どのように (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・100歳の祝い ・高齢者の日常生活用具の給付 ・ダンス教室、ヨガ教室を行い高齢者の健康増進を図る。 					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	428	399	219
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	428	399

【 事業実績 】

実施内容	<p>講師謝金：社交ダンス 72,000円 (6,000円×12月) ヨガ教室 72,000円 (6,000円×12月) 百歳の祝：記念品(膝掛け)、賞状額(国用：2個 町用：2個) 15,034円 ねたきり老人手当(継続分3名)：60,000円</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	健康寿命							単位	歳
	最終目標値	84.2								
	実績値	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	84.6	平成27年度	平成28年度	83.16
	達成度	96 %		96 %		95 %		0 %		99 %
2	指標								単位	
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%
3	指標								単位	
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%
4	指標								単位	
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%
5	指標								単位	
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点	必要最小限の予算であり、今後とも適正に執行していく。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	在宅高齢者の健康維持・増進を図るため、適切な支援ができた。今後も長期的に事業を取り組んでいく。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	在宅高齢者の健康維持・増進を図るため必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	在宅で過ごす高齢者に対して適切な支援ができた。高齢者の健康増進を図る上で必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

高齢者見守りネットワーク推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		改善	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進					
何のために (目的・課題)	高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らしを続けられるため、地域の見守り支援ネットワークを強化する。					
誰・何を (対象)	全町民 8,675人 (H27.11.1現在)					
どんなことを ・どのように (内容)	町民や地域の団体、商店、金融機関等のあらゆる機関と連携を図り、高齢者を見守る支援体制づくりを行う。また、そのための普及・啓発も行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	791	836	422
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	791	836

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(啓発物品) 128,352円 ・食糧費 17,400円 ・郵送料(対象者及び協力者への通知) 34,344円 ・クリーニング代(「ブコーさん見守り隊」ベストクリーニング代) 48,000円 ・システムソフト保守委託料(要援護者台帳管理システム保守委託料) 194,400円
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	避難行動要支援者登録者数					単位	人
	最終目標値	450						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	369	
	達成度	100 %	100 %	0 %	0 %	82 %		
2	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
3	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 経費が掛からない本来の地域住民での見守り体制の充実を図っていくことも必要と考えるが、イベント的な「声かけ訪問」を行うことにより、地域住民同士のつながりが広がり、見守り活動の周知促進に有効と考える。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 今後増加していくことが確実な高齢者に対して、普段から見守りの必要性を意識していくために有効と考える。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	5/6点 住民同士の横のつながりが希薄化している中において、普段から見守りを意識し、絆を深めていくことは有効と考える。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1点：概ね適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	高齢者は増加傾向であり、地域でひとり暮らしの高齢者等を見守る事業は安心して暮らすため重要な事業である。今後も災害時対応を含め町全体で見守る体制が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

自立支援給付費等支援事業（旧自立支援法による介護等給付事業、旧補装具費支給事業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	3 障がい者（児）福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために （目的・課題）	障がい者の地域生活と就労を進め、自立を支援するため。					
誰・何を （対象）	障害者自立支援給付決定者 45人					
どんなことを ・どのように （内容）	障害支援区分認定を受けた障がい者等に対して、障害者総合支援法による介護および訓練等給付事業を行う。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成26年度 （実績）	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）	
総事業費	108,906	114,685	116,281	
財源内訳	国県支出金	80,029	82,643	88,213
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	28,876	32,041	28,068

【 事業実績 】

実施内容	<p>①障がい者福祉サービス費負担金：障害支援区分認定を受けた障がい者等(1,005人)に対して、介護給付費等を支給した。(105,328,000円)②補装具費等負担金：身体障がい者(12人)に対して、長下肢装具及び車椅子の新調や修理費を支給した。(1,367,968円)③その他：障害者自立支援審査会負担金(1,214,000円)、障がい児通所給付費(55人に対して4,825,790円)、サービス等利用計画作成費負担金(児者)(73人に対して1,149,715円)等</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	障害福祉サービスの年間利用者数									
	最終目標値	50						単位	人		
	実績値	平成24年度	41	平成25年度	45	平成26年度	45	平成27年度	47	平成28年度	72
	達成度	132 %		145 %		145 %		152 %		144 %	
2	指標	障がい者（児）福祉に関する年間相談件数									
	最終目標値	1,600						単位	件		
	実績値	平成24年度	2	平成25年度	3	平成26年度	5	平成27年度	4	平成28年度	1,072
	達成度	200 %		300 %		500 %		400 %		67 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	障害者総合支援法に基づき適切な支援が行われており、必要に応じて介護保険事業と連携調整し、経費も必要最小限である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	第3期横瀬町障がい者計画及び第4期障がい福祉計画に基づき、有効に実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	障がい者計画等の策定に併せ意識調査を実施している。障がい者の社会参加と自立への支援のために必要不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	障害者総合支援法に基づき適切な支援が実施できた。障がい者の社会参加と自立への支援を行うための事業であり、今後も継続する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

地域生活支援事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	3 障がい者（児）福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために （目的・課題）	障がい児者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を実施し、もって障がい児者の福祉の増進を図るとともに、人格と個性を尊重し地域で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。					
誰・何を （対象）	障がい児及び障がい者 400人					
どんなことを ・どのように （内容）	障がい児者および介護者等からの相談に応ずるとともに、必要な情報提供等を行う相談事業や手話通訳者等の派遣事業、日常生活用具給付事業、障がい児者等の移動を支援する事業および障がい者等を通わせ創作的活動等の機会を提供する事業等を行う。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成26年度 （実績）	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）
総事業費	9,685	8,717	8,886
財源内訳	国県支出金	2,751	7,578
	地方債		
	受益者負担	46	
	その他		
	一般財源	6,887	1,139

【 事業実績 】

実施内容	<p>相談支援事業をはじめ必須10事業のほか任意事業(3事業)を実施した。①理解促進研修・啓発事業②自発的活動支援事業③相談支援事業④成年後見制度利用支援事業⑤意思疎通支援事業⑥日常生活給付事業⑦手話奉仕員養成研修事業⑧移動支援事業⑨地域生活機能強化事業⑩日中一時支援事業⑪紙おむつ給付事業⑫障害者虐待防止対策支援事業</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	障がい者（児）福祉に関する年間相談件数					単位	件			
	最終目標値	1,600									
	実績値	平成24年度	41	平成25年度	45	平成26年度	45	平成27年度	47	平成28年度	1,072
	達成度	132 %		145 %		145 %		152 %		67 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点	障害者総合支援法に基づき適正な支援が行われている。経費は必要最小限であるが、利用の少ない事業もあり周知等に工夫が必要である。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	第3期横瀬町障がい者計画及び第4期障がい福祉計画に基づき、有効に実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	障がい者計画等の策定に併せ意識調査を実施している。障がい者の社会参加と自立への支援のために必要不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	障害者総合支援法及び障がい福祉計画に基づき、障がい者の福祉の増進のための各支援事業が実施できた。今後も、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むための必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

がん検診事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①健康づくりの推進					
何のために (目的・課題)	疾病を早期発見し、早期治療へつなげるため。					
誰・何を (対象)	胃がん・大腸がん・肺がん：40歳以上の男女、前立腺がん：40歳以上の男性 乳がん：40歳以上の女性、子宮頸がん：20歳以上の女性					
どんなことを ・どのように (内容)	総合福祉センターまたは町民会館において、がん検診を集団検診にて実施する。 委託医療機関において個別検診を実施（胃がん・乳がん・子宮頸がん）。 節目年齢等対象者に受診勧奨を実施する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	4,317	4,894	5,077	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	480	548	629
	一般財源	3,837	4,345	4,448

【 事業実績 】

実施内容	<p>○大腸がん検診・肺がん（喀痰）・前立腺がん検診：集団検診12日間、大腸がん検診のみ役場窓口にて受付可。 受診者数 大腸がん：360名、肺がん（喀痰）：41名、前立腺がん：181名○乳がん・子宮頸がん検診：集団検診4日間・個別検診 受診者数 乳がん：206名・子宮頸がん：166名○胃がん検診：集団検診3日間・個別検診 受診者数201名</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	胃がん検診受診率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値	平成24年度	8.87	平成25年度	3.82	平成26年度	7.58	平成27年度	3.9	平成28年度	3.6
	達成度	59 %		25 %		50 %		26 %		24 %	
2	指標	大腸がん検診受信率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値	平成24年度	8.43	平成25年度	6.46	平成26年度	13.1	平成27年度	8	平成28年度	6.5
	達成度	56 %		43 %		87 %		53 %		43 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 検診委託料は郡市医師会と協議の上、決められている。大腸がん、肺がん、前立腺がんは特定健診と同日実施のため、受診者の利便性が図れている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 検診を受けることにより、がんを早期に発見でき、早期に適切な治療に結びつけられ、医療費の削減につながる。健康寿命の延伸、医療費の削減の点から見て、検診の必要性がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 肺がん・前立腺がん・大腸がん検診は集団検診のみのため、受診の機会が限られてしまう。検診の実施は医師会の協力が必要であり個別検診の実施には協議する必要がある。胃がん・乳がん・子宮頸がん検診は個別検診を開始した。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	胃がん検診を始めとする各種がん検診を集団健診で実施し早期発見に努めている。更に今年度は住民のニーズに合わせ個別健診を取り入れ、受診率の向上に努めた。今後も、がんの早期発見、早期治療により町民が健康で暮らすため必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

健康増進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①障がい者（児）福祉の充実					
何のために （目的・課題）	住民の健康増進と生活習慣病の予防・改善を図ることを目的にヘルシー講座やウォーキング教室等を実施。また健康増進を目的とした活動をする団体へ補助を行う。言語障がい者への機能訓練を行い、地域住民の理解も深めていく。					
誰・何を （対象）	全住民 8,664人（H27.12.1）					
どんなことを ・どのように （内容）	ヘルシー講座、ウォーキング教室、言語障がいがある人を対象にした機能訓練等を実施する。また、健康づくりに取り組む団体へ補助金を交付する。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成26年度 （実績）	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）	
総事業費	1,084	989	1,087	
財源内訳	国県支出金	292	120	105
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	792	869	982

【 事業実績 】

実施内容	<p>ウォーキング教室：10回、延べ148名参加 ヘルシー講座：9回、延べ91名参加 健康づくり講演会：1回、94名参加</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	要介護認定を受けていない高齢者(65歳以上)の割合						単位	%	
	最終目標値	89								
	実績値	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	84.6	平成27年度	84	平成28年度
	達成度	96	%	96	%	0	%	94	%	0
2	指標							単位		
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度		%		%		%		%	
3	指標							単位		
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度		%		%		%		%	
4	指標							単位		
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度		%		%		%		%	
5	指標							単位		
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 土曜実施も設け、若い世代も参加しやすくした。特定健診結果から対象者を抽出し、参加が望ましい者に事業案内を発送した。言語リハビリ教室はボランティアに参加してもらうことで、言語障害を理解してもらう機会とし、社会参加しやすい環境づくりも目指している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 生活習慣病の発症及び重症化を予防し、健康の維持増進を図ることで将来の医療費削減につながる。言語リハビリは、閉じこもり予防としての意味もあり、機能低下予防から将来の介護給付費抑制にもつながる。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 生活習慣病の予防は、健康寿命の延伸、医療費と介護給付費の削減のため重要な課題である。健康増進事業により、普段から健康づくりを意識してもらうことで、生活習慣病の発症及び重症化予防につながる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	一部改善
総合評価	生活習慣病その他疾病の早期発見及び予防により町民の健康保持・増進を図る事業が実施できた。健康寿命を延ばすことが重要であり、引き続き未受診者への受診勧奨の強化とともに、受診率向上へ向けた取り組みを行う必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

地域支援事業（任意事業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課（介護）
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	1 地域福祉の推進					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進					
何のために （目的・課題）	高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、高齢者の自立の助長と生活の質の向上を図る。また、介護者の精神的・経済的な負担の軽減や事業者の支援も行う。					
誰・何を （対象）	65歳以上の高齢者世帯（単身や夫婦のみの世帯）、要支援・要介護認定者で寝たきりや認知症等の状態である方、その家族や関係者等。					
どんなことを ・どのように （内容）	<ul style="list-style-type: none"> 紙おむつ給付事業：一定基準額以内の紙おむつ等を月1回現物給付。 住宅改修理由書作成支援事業：介護保険の住宅改修にかかる理由書を作成した居宅介護支援事業所への手数料の助成。 成年後見制度利用支援事業：成年後見制度の申立等に対する費用の助成。 介護給付費通知の送付。 					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成26年度 （実績）	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）	
総事業費	2,156	1,967	2,776	
財源内訳	国県支出金	1,277	1,151	1,623
	地方債			
	受益者負担			
	その他	878	816	1,153
	一般財源			

【 事業実績 】

実施内容	<p> 役務費：40,354円（介護給付費通知郵便料 557件） 委託料：2,261,620円（紙おむつ給付：1,079,360円 実人数26人・延べ243件、配食サービス：1,182,260円実人数35人・延べ2,623食） 扶助費：475,000円（家族介護者支援手当：15人認定（延べ26人支給）） その他認知症サポーター養成講座を実施 </p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

	指標	見守りネットワーク設置						
1	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	100 %	100 %	0 %	0 %	0 %		
	指標							
2	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
	指標							
3	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
	指標							
4	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
	指標							
5	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 配食サービスと紙おむつ支給事業は委託により実施。生活支援と介護負担軽減に資する事業であり支出も妥当であった。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 家族介護者支援手当はねたきり老人手当からの移行として新規実施。介護者への支援により在宅生活の負担軽減ができた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 家族介護者支援手当、配食サービスについては高齢者等に直接生活支援を行うものでありニーズへの反映ができていない。ただし紙おむつ支給対象者は基準により支給対象者が限られている状態。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	介護保険事業計画に基づいた各支援事業が実施できた。今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう事業を継続する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

地域支援事業（介護予防ケアマネジメント事業費）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
			○		新規	健康づくり課（介護）
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	1 地域福祉の推進					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進					
何のために （目的・課題）	居宅要支援被保険者や要支援認定者等が、第一号事業や介護予防支援サービス等を利用する際に必要な支援を行うための事業。					
誰・何を （対象）	居宅要支援被保険者・要支援認定者等の方とその家族・その他関係者					
どんなことを ・どのように （内容）	居宅要支援被保険者や要支援認定者の方やその家族等への相談や訪問等の支援。第一号事業や介護予防支援サービスを利用する際に、介護保険サービスだけではなく、地域の保健・福祉・医療のサービスやボランティア活動等の社会資源を活用し、可能な限り自立した在宅生活を送れるよう継続的な支援を行う。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成26年度 （実績）	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）
総事業費			1,367
財源内訳	国県支出金		513
	地方債		
	受益者負担		
	その他		853
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	<p>①在宅の要支援被保険者や要支援認定者の方とその家族に対して相談や訪問による支援を実施した。②要支援認定者や事業対象者が介護保険サービスを利用する際のケアマネジメントを実施した。（ケアマネジメント給付管理件数：延べ298件） 需用費：33,048円 役務費：93,792円 委託料 690,100円 使用料及び賃借料：550,251円</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	介護予防事業の参加者数					単位	人
	最終目標値	1,640						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	2,170	
	達成度	%	%	%	%	132	%	
2	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
3	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 相談支援業務にかかる経費、ケアマネジメント業務は1件あたりで定められた単価のとおり適切に支出を行った。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 相談者数、利用者数に応じた支援を実施。利用者に対する継続的な支援を実施した。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 迅速に相談対応を行った。総合事業利用者に対するケアマネジメントを適切に行うことで生活ニーズを満たしている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	介護サービス利用者等に対する適切な支援業務が実施できた。今後も介護予防事業に必要な支援事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

地域支援事業（一般介護予防事業費）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		新規	健康づくり課（介護）
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	1 地域福祉の推進					
その他の関連する施策	①健康づくりの推進					
何のために （目的・課題）	要支援・要介護状態になることを予防するとともに、要支援・要介護状態の軽減や悪化の防止のための事業。					
誰・何を （対象）	おおむね65歳以上の者（要支援・要介護認定者を除く）					
どんなことを ・どのように （内容）	介護予防に関する知識等の普及啓発活動や介護予防教室等を実施するとともに、地域での介護予防に関する自主的な活動や取り組みを支援する。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成26年度 （実績）	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）
総事業費			4,525
財源内訳	国県支出金		1,696
	地方債		
	受益者負担		
	その他		2,828
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	<p>65歳以上の一般高齢者に対し、各介護予防事業を実施。【ミニデイサービス事業】毎週火曜日全48回実施。参加者数（実人数18名・延べ人数824名）【おたっしや教室】毎月第1・3木曜日全24回実施。参加者数（実人数30名・延べ人数599名）【はつらつ体操教室】毎月第2・4水曜日全24回実施。参加者数（実人数28名・延べ人数678名）【脳トレいきいき教室】3ヶ月全6回実施。（実人数12名・延べ人数69名）</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	介護予防事業の参加者数					単位	人			
	最終目標値	1,640									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	2,170
	達成度	%		%		%		%		132	%
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点	事業の運営は、一部を委託、一部を直営の地域包括支援センターが実施。経費・効果ともに妥当と考える。参加できる事業の受け入れ体制等限界があり、介護予防事業自体の方法や内容等検討が必要。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	介護保険事業計画に基づいて実施。事業参加者へは介護予防の普及ができたと考える。しかし、参加される方は毎年同じで定員もいっぱいになってしまうため、種類を増やす等の検討が必要。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	送迎を行っていない事業もあり、参加できる人が限られてしまう。また体操中心の教室はいずれも定員がいっぱいのため、参加したくてもできない人もいる。予防給付を卒業した際の受け皿もないため、検討が必要。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		15/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	介護保険事業計画に基づいて健康的に過ごせるよう、介護予防の普及・啓発のための事業が実施できた。今後も介護状態になることを予防することは重要であり、継続的に事業に取り組む必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

児童福祉一般事務事業（旧児扶・特児等一般事務事業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	ひとり親家庭等の保護者の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進を図るため 要保護児童等の早期発見及び適切な保護、支援等を図るため 子育て世帯や移住を検討している方へ子育て施策を周知するため					
誰・何を (対象)	ひとり親家庭、障がい児のいる家庭等 要保護児童等 子育て世帯及び移住を検討している方					
どんなことを ・どのように (内容)	児扶・特児の認定請求等受付事務、その他児童福祉関係事務 要保護児童対策地域協議会の開催、コピー機のリース ファミリー・サポート・センター利用料助成事業 イクメンパパ応援事業					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	34	28	340
財源内訳	国県支出金	16	18
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	18	12

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・イクメン講座 ①開催回数：2回②場所：横瀬児童館③参加者：概ね1歳から就学前までの幼児及びパパ 合計68名④内容：子育て講義、ヤキイモづくり、親子体操など⑤経費：65,504円 ・ファミリー・サポート・センター利用料助成事業 ①内容：無料利用券（600円券）通算3枚まで使用可②利用者数：5名など
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	ファミリー・サポート・センターの年間利用者数						単位	人
	最終目標値	5							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		2	
	達成度	%	%	%	%	40	%		
2	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			
3	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			
4	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			
5	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			

【 担当者評価 】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	ファミリー・サポート・センター事業については、定住自立圏事業として、広域的に取り組んでおり、経済的・効率的に適切である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	ファミリー・サポート・センター事業については、定住自立圏事業として広域的に取り組んでおり、事業展開は適切である。しかし、「無料利用券」は、生涯3回しか利用できないため、「無料利用券」なしの利用については不透明な状況である。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	ファミリー・サポート・センター事業については、手続の煩わしさ等により、なかなか利用者が増えない状況である。しかし、子育ての援助としての受け皿としては、今後も必要と思われる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	一部改善
総合評価	新たに、イクメン講座、ファミリーサポートセンター利用料助成事業を実施し、子育て支援の充実を図った。ファミリーサポートセンターは助成券を発行しても利用者数は伸びていない。今後も子育ての援助として必要な事業であるが、地域に馴染んだ方策を検討する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

こども医療費支給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	保護者の経済的負担を軽減し、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るため。					
誰・何を (対象)	中学校修了前のこども(0歳～15歳年度末) 1,001人					
どんなことを ・どのように (内容)	0歳児から15歳年度末までのこどもを持つ保護者に対し医療費を支給する (平成22年4月診療分から対象者を12歳年度末から15歳年度末まで拡大) (平成25年4月から現物給付化を実施)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	24,744	24,136	23,656	
財源内訳	国県支出金	2,755	2,351	2,532
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	21,988	21,784	21,123

【 事業実績 】

実施内容	<p>町内に住所を有し、健康保険に加入している0歳児から15歳年度末(中学校修了前)までのこども(他公費受給者を除く。)にかかる医療費の一部負担金等を支給。</p> <p>助成金支給総額：22,241,486円 手数料：973,480円</p> <p>【参考】県補助金(0歳から就学前まで1/2補助) 町単独補助(小1から中3まで 秩父郡市統一)</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900						単位	人		
	実績値	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395	平成27年度	14,653	平成28年度	16,423
	達成度	77 %		88 %		78 %		92 %		103 %	
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230						単位	人		
	実績値	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060	平成27年度	1,016	平成28年度	955
	達成度	91 %		89 %		86 %		0 %		78 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 経済的・効率的に妥当である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 子ども・子育て支援事業計画に基づき、有効に実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 対象年齢を18歳年度末まで拡大している自治体もあるため、住民のニーズに合わせ拡大も考える必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	拡大
総合評価	子ども医療費は、15歳年度末(中学校修了前)までを支援対象としているが、さらなる子育て支援の充実を図るため、住民ニーズや近隣自治体の動向を踏まえ、18歳年度末まで対象を拡大する必要がある。(H29より拡大済)

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	拡大
最終評価	乳幼児等への支援は拡大を図って来たが、高校生等への支援を実施することも子育てを後押しするためには必要であることから拡大とする。

行政評価票

出産祝い金支給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	出産を奨励し、子どもの健やかな成長を願い、子育て家庭へ祝い金を支給。					
誰・何を (対象)	出生した子のいる家庭					
どんなことを ・どのように (内容)	出生した子の父母を対象に出産祝い金を第1子 30,000円、第2子 50,000円、第3子以降 100,000円と、段階的に金額を増やして支給する。 平成28年4月から改定。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,710	1,470	2,950
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,710	1,470

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 出生した1子につき、出産祝い金を支給した。 (第1子：30,000円 第2子：50,000円 第3子以降：100,000円) 支給人数：58名 (第1子：25名 第2子：22名 第3子以降：11名)
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395	平成27年度	14,653	平成28年度	16,423
	達成度	77 %		88 %		78 %		92 %		103 %	
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060	平成27年度	1,016	平成28年度	955
	達成度	91 %		89 %		86 %		83 %		78 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 経済的・効率的に妥当である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 事業展開は妥当であるが、出産祝い金を支給した後、転出することも考えられるため、長期的な効果に課題がある。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 子育て世帯の経済的負担軽減などのニーズに合わせた事業展開である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	子育て世帯の経済的負担軽減や出産のさらなる奨励とするため、出生数に応じて祝い金の支給額を増額し事業の拡大を図った。今後も子育て世帯の経済的負担軽減等のため、事業を継続していく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

入学祝い金支給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①商工業の振興					
何のために (目的・課題)	子育て世帯の経済的負担の軽減と定住促進と商店等の活性化を図るため。					
誰・何を (対象)	小学校及び中学校等入学予定児童のいる世帯					
どんなことを ・どのように (内容)	小学校及び中学校等入学時には、ランドセルやかばん、体操服等そろえなければならない用品があり、経済的に負担が大きい。町内の商店等で利用できる商品券(10,000円)をお祝いとして支給する。 H28年4月から改定。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	760	708	2,491
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	760	708

【 事業実績 】

実施内容	<p>小学校や中学校等に入学する児童や生徒を養育する者に、入学祝い金として商品券(10,000円分)を支給した。</p> <p>平成28年度入学 支給者：121名(小学校：47名 中学校：74名)</p> <p>平成29年度入学 支給者：127名(小学校：62名 中学校：65名)</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395	平成27年度	14,653	平成28年度	16,423
	達成度	77 %		88 %		78 %		92 %		103 %	
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060	平成27年度	1,016	平成28年度	955
	達成度	91 %		89 %		86 %		83 %		78 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 他事業との連携調整も図られ、経済的・効率的に妥当である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 スケジュールについては、入学準備のために祝い金を使いたいという意見もあるため、支給時期を見直すことも考えられる。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 経済的負担がかかる中学校入学時においても支給することによって、住民のニーズに合わせた事業になっている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、新たに中学校入学時での祝い金の支給も行い事業の拡大を図った。また、ニーズ等を踏まえ、祝い金を入学準備に有効に活用していただくため、支給時期を1ヶ月早め3月に支給した。今後も子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、継続し実施していく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	一部改善
最終評価	祝い金支給者へのアンケートを実施し、その結果から支給時期の見直しのニーズが高いことは明らかであり、見直しは妥当である。支給は商品券であり、入学前に支給することで入学準備品に使用でき、利便性が向上する。

行政評価票

健康管理システム管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	住民に効率的でスピーディーなサービスを提供するとともに、健診や予防接種の情報を整備しておくことにより、適切な指導、勧奨を行うことができるため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	乳幼児・成人の各種健診、予防接種事業を管理するため、健康管理システムの機器リース、ソフト及び機器の保守委託を行い、住民の健康を管理していく。(平成22年度から新機種にリース替え)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	902	847	613
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	902	847

【 事業実績 】

実施内容	<p>健康診査やがん検診、予防接種等の結果を入力し、個人のデータ管理や通知作成、統計等の集計を実施。</p> <p>経費内訳：システム機器保守委託料 54,816円 ソフトウェア使用料 518,400円</p> <p>システム機器リース料 40,176円</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	1歳6カ月児健診受診率							単位	%	
	最終目標値	98									
	実績値	平成24年度	95.38	平成25年度	95.38	平成26年度	100	平成27年度	100	平成28年度	96
	達成度	99 %		99 %		104 %		104 %		98 %	
2	指標	3歳児健診受診率							単位	%	
	最終目標値	95									
	実績値	平成24年度	91.17	平成25年度	88.88	平成26年度	98	平成27年度	95	平成28年度	95.7
	達成度	96 %		94 %		103 %		100 %		101 %	
3	指標	胃がん検診受診率							単位	%	
	最終目標値	15									
	実績値	平成24年度	8.87	平成25年度	3.82	平成26年度	7.58	平成27年度	3.9	平成28年度	3.6
	達成度	59 %		25 %		50 %		26 %		24 %	
4	指標	大腸がん検診受診率							単位	%	
	最終目標値	15									
	実績値	平成24年度	8.43	平成25年度	6.46	平成26年度	13.1	平成27年度	8	平成28年度	6.5
	達成度	56 %		43 %		87 %		53 %		43 %	
5	指標								単位		
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	住基システムと連動しているため、経費は適切で、効率的である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	住基システムと連動しているため、対象者の把握が確実にでき、効果的である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	各種事業を適切かつ効率的に実施するために必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	予防接種歴や各種検診等の受診歴の管理により、住民に対しサービスを効率的に提供できた。予防接種や各種検診等の個人データを管理するシステムであるため必要不可欠な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

妊婦健康増進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①子育て支援の推進					
何のために (目的・課題)	妊婦の健康の維持・増進、妊婦健診の適正受診を促す。妊娠経過、出産・育児など正しい知識の提供と支援を行う。 不妊・不育症治療を受ける夫婦へ経済的負担の軽減を図るための支援強化を実施。					
誰・何を (対象)	妊婦とその家族 不妊・不育症の治療を受けた夫婦					
どんなことを ・どのように (内容)	妊婦訪問「はじめの一步」、マタニティスクール・初孫教室の実施、母子健康手帳の交付、妊婦健康診査の受診費用の補助。 不妊・不育症の治療に要した自己負担額の5割、10万円を限度に医療費の一部を助成。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	5,486	5,466	6,312
財源内訳	国県支出金	4	
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	5,482	5,466

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査 助成額合計 5,588,790円 (委託料 5,505,700円、補助金 83,090円) ・マタニティスクール 年5回 参加者：23人 (延べ) ・マイ・エンゼル支援事業 3組
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	1歳6カ月児検診受診率									
	最終目標値	96							単位	%	
	実績値	平成24年度	95.38	平成25年度	95.38	平成26年度	102	平成27年度	100	平成28年度	96
	達成度	99 %		99 %		106 %		104 %		100 %	
2	指標	3歳児検診受診率									
	最終目標値	95							単位	%	
	実績値	平成24年度	91.17	平成25年度	88.88	平成26年度	98	平成27年度	95	平成28年度	95.7
	達成度	96 %		94 %		103 %		100 %		101 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 マイ・エンゼル支援事業等を見直し、経費は適切で効果的である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 全体として、事業展開は適切であるが、マタニティスクールについては医療機関で同様の指導を実施しており効果が現れにくい状態である。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 妊婦訪問の訪問対象者、産後健診等の助成についてニーズを反映しながら検討していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	一部改善
総合評価	マイ・エンゼル支援事業では、不妊治療のほか、不育治療も対象にしたり、限度額の引き上げや助成回数等を増やし事業を拡大した。今後も少子化対策につなげていくために必要な事業であり、補助金等活用し、事業内容の充実を図る必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

乳幼児健康診査相談事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①子育て支援の推進					
何のために (目的・課題)	乳幼児の身体発育、発育栄養状態、精神機能及び運動機能の発達を確認し、疾病や異常を早期発見する。また保健指導を実施し、母親の育児不安を軽減し、児童虐待を予防する。					
誰・何を (対象)	乳幼児とその保護者					
どんなことを ・どのように (内容)	乳幼児健康診査において成長・発達の確認を行い、発達の遅れがみられる児に対してはフォロー教室への参加を促し、必要時療育機関等を紹介する。 平成28年度より新たに5歳児健診を実施し、3歳児健診後に明らかになる発達における課題を早期に発見し就学期を迎えるための機会とする。 また、育児家庭支援家庭訪問事業を実施し、子育ての負担軽減を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	5,072	3,391	4,442
財源内訳	国県支出金	615	908
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	3,949	2,775

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診、乳幼児健康相談、育児・幼児学級、乳幼児健診後事後指導教室、子育て応援講座等の実施 <p>【補助対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児訪問 (132,882円)、育児支援家庭訪問事業 (735,110円) の実施 ・養育医療給付費事業 (給付実績なし、過年度返還金 国：268,560円、県：134,280円)
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	1歳6カ月児健診受診率									
	最終目標値	98							単位	%	
	実績値	平成24年度	95.38	平成25年度	95.38	平成26年度		平成27年度		平成28年度	96
	達成度	99 %		99 %						98 %	
2	指標	3歳児健診受診率									
	最終目標値	95							単位	%	
	実績値	平成24年度	91.17	平成25年度	88.88	平成26年度		平成27年度		平成28年度	95.7
	達成度	96 %		94 %						101 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	対象人数に応じ、スタッフの人数を調整する等謝金を最低限にできるようにしている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5/6点	定期的に健診の機会を設けることで、親子の状態を把握できる。各種相談事業や母子保健事業との整合性を図り、切れ目ない子育て支援が行えるよう事業を展開していく必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	乳幼児の疾病や発育発達の遅れを早期発見し、専門的な療育支援につなぐことが出来る。また、保健指導により母親の育児不安を軽減する機会となっている。今後も、健診のスタッフには専門職を確保し、早期から専門的な支援が行えるようにしていく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	定期的に健診を実施し、乳幼児の疾病や発育・発達の遅れを早期発見するほか、必要に応じて医療機関等の関係機関につなげ連携することもできた。新たに、5歳児健診・育児支援家庭訪問事業・子育て応援講座等の新規事業も実施し、切れ目のない子育て支援策の充実を図った。今後の継続し事業実施していく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

児童館管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①幼児教育の充実 ②青少年の健全育成					
何のために (目的・課題)	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情緒を豊かにするとともに、安心して安全な居場所の提供を目的とする。					
誰・何を (対象)	幼児(保護者同伴)から18歳までの児童					
どんなことを どのように (内容)	利用時間は、幼児(保護者同伴)は午前9時から正午(月～金曜)午後1時から午後3時(火・木・金曜日のみ)。小学生は午後1時から午後5時(月～金曜日)。季節の行事や親子ふれあい遊び、紙芝居、うた、体操や工作教室、おはなし会などの事業を実施する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	3,623	2,837	3,619	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	41	16	44
	一般財源	3,582	2,821	3,574

【 事業実績 】

実施内容	<p>幼児から18歳までの児童に安全な遊び場を与え、安全な遊びを指導した。</p> <p>利用時間：平日 午前9時から午後5時 夏休 午前8時から午後5時45分</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数（総利用者数）									
	最終目標値	15,900						単位	人		
	実績値	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395	平成27年度	14,675	平成28年度	16,423
	達成度	77 %		0 %		78 %		92 %		103 %	
2	指標	児童館の年間利用者数（就学前児童）									
	最終目標値	3,700						単位	人		
	実績値	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060	平成27年度	1,016	平成28年度	2,823
	達成度	91 %		89 %		86 %		82 %		76 %	
3	指標	児童館の年間利用者数（就学後児童）									
	最終目標値	9,500						単位	人		
	実績値	平成24年度	2,752	平成25年度	3,372	平成26年度	2,459	平成27年度	2,828	平成28年度	3,524
	達成度	69 %		84 %		61 %		70 %		37 %	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 利用者が低年齢化しているため、地域子育て支援拠点事業をはじめとし、学童保育室事業・公民館事業（ママとよい子のリトルラビット）と連携し、効果的に事業を行った。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 3歳以上の幼児から18歳までの児童に健全な遊び場を与え、遊びが指導できた。年間を通して季節ごとの行事等を数多く計画し、児童館の利用を促進した。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 子育てを地域で支援することや遊び場を提供することのニーズは高く、今後も必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	児童館の目的に沿い、幼児・小学生を対象とした事業を実施している。今後も引き続き利用者のニーズに合わせ、事業を実施する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

学校夏季休業中における児童館開館事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①青少年の健全育成					
何のために (目的・課題)	夏休み中に、児童が安全な環境で学習し、たくさんのともだちとルールを守り仲良く遊び、楽しく充実した時間を過ごすことにより、子育て支援や児童の健全育成を図る。 また、保護者も安心して働くことができるため、就労の支援にもつながる。					
誰・何を (対象)	夏期休業中の小学校在籍児童					
どんなことを ・どのように (内容)	小学校の夏季休業中に、児童厚生員と夏季のみの非常勤職員で、小学1年生から小学6年生までの児童の遊びや学習、昼食等の指導、保育をする。また、時間延長に伴い職員がフレックスタイムを利用し勤務にあたる。事業費：補助者1名(7時間)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	119	147	118
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	119	147

【 事業実績 】

実施内容	午前8時から午後5時45分まで開館し、児童に安全な遊び場等を提供した。非常勤職員増員。
------	---------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数（総利用者数）						単位	人
	最終目標値	15,900							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	16,423		
	達成度	%		%		%		103	%
2	指標	児童館の年間利用者数（就学後児童）						単位	人
	最終目標値	9,500							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	10,813		
	達成度	%		%		%		114	%
3	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%			%
4	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%			%
5	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%		%		%			%

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 夏季休業期間のみの非常勤職員の採用と中学生ボランティアを受け入れ、児童の指導にあたった。学童保育室の児童と協力して各種の事業が実施できた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 乳幼児も利用する児童館であるため、利用スペースに限りがある中で効率よく利用できた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 児童の居場所として保護者からも必要とされており、今後も必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	申込者も多く、ニーズの高い事業である。異なる年齢での集団生活の経験や、長期休業中の規則正しい生活の場となるため、今後も引き続き実施する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

地域子育て支援拠点事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①幼児教育の充実					
何のために (目的・課題)	幼児の利用時間を延長し、幼児と保護者が安心して集える場を提供し、児童及び保護者がお互いに交流を図ることができるよう援助し、小さい子供を持つ親を応援する。					
誰・何を (対象)	概ね3歳未満の幼児と保護者					
どんなことを ・どのように (内容)	毎週火・木・金曜日、午前9時から午後3時まで児童館内でかわせみひろばを実施。子育てに関する講習会、相談事業や子育て情報の提供をするとともに、親子のふれあい遊びや工作教室、運動あそびなどを実施し、子育て中の親子が気軽に集まり交流する場を提供する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	1,280	1,995	2,548	
財源内訳	国県支出金	928	1,410	1,744
	地方債			
	受益者負担			
	その他	27	18	5
	一般財源	324	566	798

【 事業実績 】

実施内容	<p>子育て親子（概ね3歳未満の幼児及び保護者）が自由に利用できる交流の場を提供した。</p> <p>かわせみひろば 火・水・金 9時から15時</p> <p>メーブルの森（旧芦小） 毎週月曜日 10時から15時</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数（総利用者数）									
	最終目標値	15,900						単位	人		
	実績値	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395	平成27年度	14,675	平成28年度	16,423
	達成度	77 %		0 %		78 %		92 %		103 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	児童館事業と連携して事業を実施した。参加者に年齢差はあるが対象者を増やすことができ、経費の軽減にもつながった。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	居心地のよい交流の場を提供し、魅力ある事業が実施できた。安心して子育てができる交流の場、相談できる場の提供ができた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	核家族化が進む中、就園前の子育て支援の場として、地域で子育てを支え合う場として引き続き必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	安心して子育てができるよう交流の場、相談できる場の提供ができ、幼児親子を対象とした事業も実施している。今後も引き続き利用者のニーズに合わせ、事業を実施する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

出張ひろば「メープルの森」運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	子育て支援課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①幼児教育の充実					
何のために (目的・課題)	子育て中の親子が安心して集い、お互いに交流を図ることのできる居場所を提供するとともに、年齢にあったあそびを提供したり、講習会の実施や子育て相談等を行い、子育てを支援する。					
誰・何を (対象)	概ね3歳未満の幼児と保護者					
どんなことを ・どのように (内容)	毎週月曜日の午前10時から午後3時まで、旧芦ヶ久保小学校「仲良しルーム」において実施。自由あそびや参加者同士の交流のほか、工作教室、うたや体操の指導など、楽しいあそびを提供する。また、昼食をとる時間を設けるなど、ゆっくりくつろげる居場所づくりに努める。(平成22年度より実施)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	502	479	570	
財源内訳	国県支出金	398	338	436
	地方債			
	受益者負担			
	その他	21	17	7
	一般財源	83	123	126

【 事業実績 】

実施内容	<p>毎週月曜日10時から15時、旧芦小で実施。 子育て中の親子が自由に利用できる交流の場を提供した。 子育ての不安や悩み等の相談及び援助を行った。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数（総利用者数）									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値	平成24年度	2,752	平成25年度	3,372	平成26年度	2,459	平成27年度	2,828	平成28年度	16,423
	達成度	69 %		84 %		61 %		70 %		103 %	
2	指標	児童館の年間利用者数（就学前児童）									
	最終目標値	3,700							単位	人	
	実績値	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060	平成27年度	1,016	平成28年度	2,823
	達成度	91 %		89 %		86 %		82 %		76 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	事業の周知と利用者の増加をねらい、他の子育て支援事業とも連携を図りながら事業が実施できた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	かわせみひろば（児童館内）を拠点として事業を拡大し、子育て親子が集える場を確保できた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	魅力ある事業を継続するために、ニーズを把握し事業を実施できた。引き続き必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	旧芦ヶ久保小学校において毎週月曜日に親子で遊べる事業等を実施し、参加者からも好評を得ている。子育て中の親子への支援事業として今後も継続する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

学童保育室運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	子育て支援課
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	4 青少年の健全育成					
その他の関連する施策	①子育て支援の推進					
何のために (目的・課題)	共働きやひとり親世帯の保護者が安心して働くための支援や子どもたちが安心して生活できる居場所づくりをし、児童の健全育成を図る。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	平日の放課後から午後6時30分、学校休業日の午前8時から午後6時30分の間、学童保育室において共働きやひとり親家庭等により保育に欠ける小学1～3年生の児童を対象として保護者に替わり児童指導員が保育を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	5,745	9,203	9,334	
財源内訳	国県支出金	2,034	4,243	4,377
	地方債			
	受益者負担	2,076	2,772	3,445
	その他			
	一般財源	1,635	2,187	1,511

【 事業実績 】

実施内容	<p>昼間留守になる家庭の子どもを預かり、安全な居場所を提供した。年度末在籍児童53名。</p> <p>平日：放課後から18時30分まで</p> <p>学校休業日：7時30分から18時30分まで</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数（総利用者数）									
	最終目標値	15,900						単位	人		
	実績値	平成24年度	7,169	平成25年度		平成26年度	6,748	平成27年度	11,847	平成28年度	16,423
	達成度	84 %		0 %		79 %		139 %		103 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%			%			%			%
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%			%			%			%
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%			%			%			%
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%			%			%			%

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価				
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	児童館と併設しているため、児童館の小学生対象事業と連携して実施することが多い。非常勤職員は、保育が必要な時間にシフトを組み交替で勤務している。		
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切				
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切				
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点		児童が放課後や学校休業日等に生活する場として、安全で安心な保育を最優先し事業を実施した。	
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切				
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切				
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点			核家族化や保護者の就労等により昼間留守になる家庭が多いため、今後も必要な事業である。待機児童は無。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切				
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切				
総合点数		18/18点				

【 総合評価 】 評価者： 浅見 雅子

今後の方針	現状維持
総合評価	保護者の就労等により、学童保育室のニーズは高まり、放課後の児童の遊び場、生活の場として子育て支援のための重要な事業である。放課後子ども教室との連携も踏まえ、今後も継続して事業を実施する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

不法投棄防止事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	1 地域環境づくりの推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町内における不法投棄を防止することにより、地域環境の保全を行い、町民には住みやすい町、来訪者には繰り返し訪れたい町の実現をめざす。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	町民クリーンパトロール員による不法投棄防止意識の普及・啓発。また、不法投棄防止パトロール及びごみの撤去、処分。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	348	485	416
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	348	485

【 事業実績 】

実施内容	<p>不法投棄防止に係る消耗品の購入、町民クリーンパトロール員の傷害保険料及び不法投棄防止パトロール等業務委託の委託料等を支出するもの。</p> <p>●経費 416,204円 「需用費」消耗品費 48,844円 「役務費」保険料 123,150円 「委託料」一般委託料 244,210円</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	巡回パトロールの稼働日数									
	最終目標値	365							単位	日	
	実績値	平成24年度	364	平成25年度	363	平成26年度	365	平成27年度	346	平成28年度	357
	達成度	147 %		145 %		100 %		95 %		98 %	
2	指標	環境保護意識の啓発回数									
	最終目標値	12							単位	回	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	7
	達成度									58 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度										
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度										
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度										

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	横瀬町町民クリーンパトロール員（ボランティア）及び公益社団法人横瀬町シルバー人材センター（業務委託）等による不法投棄防止活動（パトロール及び清掃活動等）を必要最低限の経費で効果的に実施しているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	横瀬町町民クリーンパトロール員（ボランティア）及び公益社団法人横瀬町シルバー人材センター（業務委託）等による不法投棄防止活動（パトロール及び清掃活動等）を効果的に実施しているため、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	横瀬町町民クリーンパトロール員（ボランティア）及び公益社団法人横瀬町シルバー人材センター（業務委託）等による不法投棄防止活動（パトロール及び清掃活動等）の減少は不法投棄の増加に直結するため、効果的な対策を継続的に実施していく必要があると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	横瀬町町民クリーンパトロール員及び横瀬町シルバー人材センター等による不法投棄の監視や清掃活動が効果的に実施されている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

環境保全事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	2 自然環境づくりの推進					
その他の関連する施策	①自然環境づくりの推進 ②下水道の整備					
何のために (目的・課題)	町内の環境状態を把握し、得られたデータを統計的に活用するため。また、データをもとに、公害の未然防止を図るため。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	降下ばいじん（町内4地点で年12回）及び河川水質（7地点で年6回）の定点測定を実施する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,461	1,665	1,738
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,461	1,665

【 事業実績 】

実施内容	<p>河川水質・降下ばいじん調査測定業務委託等に係る委託料を支出するもの。 ●経費 1,738,368円 「委託料」一般委託料 1,738,368円</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	水質環境基準の達成（横瀬川町内最下流地点におけるBOD（生物化学的酸素要求量））									
	最終目標値	0.75						単位	mg/?		
	実績値	平成24年度	1.18	平成25年度	1.1	平成26年度	1.1	平成27年度	0.9	平成28年度	1.2
	達成度	64 %		68 %		68 %		83 %		0 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	河川水質・降下ばいじん調査測定業務委託を必要最低限の経費で実施しているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	河川水質・降下ばいじん調査測定業務委託を実施することにより、町内の環境状態を把握し、得られたデータを統計的に活用できるため、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	河川水質・降下ばいじん調査測定業務委託を実施することにより、町内の環境状態を把握し、得られたデータを統計的に活用できるため、また、当該データが公害の防止に資するため必要があると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	環境保全の観点から長期的なデータの蓄積が必要で、継続的測定が重要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

有価物回収事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	3 地球温暖化対策の推進					
その他の関連する施策	①地球温暖化対策の推進 ②青少年の健全育成					
何のために (目的・課題)	ごみの減量化及び資源の有効利用を図り、省資源、省エネルギー対策を推進するため。					
誰・何を (対象)	地域住民団体、こども育成会、自治会等					
どんなことを ・どのように (内容)	地域住民団体が行う有価物の集団回収に対して、有価物の回収量に応じ報償金(5円/kg)を実施団体等に支給する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	982	774	796
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	982	774

【 事業実績 】

実施内容	<p>地域住民団体が実施した有価物回収事業に対して、有価物の回収量に応じ報償金(5円/kg)を支出するもの。</p> <p>●経費 796,110円 「報償費」報償金 796,110円(有価物回収量 159,222kg)</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	ごみの排出量（1人1日あたり）									
	最終目標値	705						単位	g		
	実績値	平成24年度	739	平成25年度	730	平成26年度	818	平成27年度	749	平成28年度	736
	達成度	95 %		97 %		86 %		94 %		0 %	
2	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 回収物品の処分と有価物回収事業の経費を賄う金額で設定されているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 リサイクル率の向上、ごみの減量化及び適正処理を図れるとともに、幼少期からごみへの関心を高めることができるため、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 リサイクル率の向上、ごみの減量化及び適正処理に有効な事業であるため、継続して実施していく必要があると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	効果的なゴミの回収と、分別収集の意識醸成を図ることができる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

家庭用LED照明購入費補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
			○		継続	振興課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	3 地球温暖化対策の推進					
その他の関連する施策	①地球温暖化対策の推進					
何のために (目的・課題)	家庭用LED照明の普及を促進することにより、電気使用量の削減、温室効果ガスの排出抑制を図る。					
誰・何を (対象)	町内世帯					
どんなことを ・どのように (内容)	家庭用LED照明器具等の購入費の1/2を町産業・観光振興協会発行の商品券で補助を行う。(上限5,000円)					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	417	506	241
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	417	506

【 事業実績 】

実施内容	<p>LED照明を普及促進し、電気使用量の削減とCO2排出量の抑制を図るため、LED照明器具等を購入した世帯に対して購入費(補助対象経費)に2分の1を乗じて算出した額(5,000円限度)を補助するもの。なお、補助金については、横瀬町観光・産業振興協会発行の商品券で交付した。</p> <p>●経費 241,500円 「報償費」報償品 241,500円</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	環境保護意識の啓発回数					単位	回
	最終目標値	12						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	7	
	達成度	%	%	%	%	58	%	
2	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
3	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%	%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 補助金の額について、補助対象経費に2分の1を乗じて算出した額以内とし、最高5,000円を限度としており、必要最低限の経費で効果的に実施しているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 LED照明器具、LED照明電球及びLED蛍光管の購入費用の一部を補助することにより、LED照明の普及を促進し、もって電力使用量の抑制及び温室効果ガスの排出抑制を図ることができるため、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 LED照明器具、LED照明電球及びLED蛍光管の購入費用の一部を補助することにより、LED照明の普及を促進し、もって電力使用量の抑制及び温室効果ガスの排出抑制を図ることができるため、継続的に実施していく必要性があると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	補助事業を実施することで、電力使用量の抑制と温室効果ガスの排出抑制を図るとともに、省エネルギーと地球温暖化防止への啓蒙となる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

中山間地域等直接支払交付金事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	当該交付金によって、適正な農業生産活動等が維持されることにより、耕作放棄の発生を防止し、国土の保全、水源のかん養、良好な景観形成等の多面的機能の確保を図るため。					
誰・何を (対象)	集落協定締結農家					
どんなことを ・どのように (内容)	町内6集落が協定締結内容に従い実施する農地保全活動、耕作放棄地発生防止活動等に必要な交付金の支払いを行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	4,511	4,521	4,521
財源内訳	国県支出金	3,379	3,391
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,132	1,130

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・寺坂集落協定 (30戸・36,826㎡) 773,346円 ・後田集落協定 (23戸・17,452㎡) 139,616円 ・芦ヶ久保集落協定 (56戸・173,102㎡) 1,990,673円 ・上芦ヶ久保集落協定 (40戸・63,135㎡) 726,052円 ・姿集落協定 (56戸・78,927㎡) 631,416円 ・合耕地集落協定 (19戸・29,517㎡) 260,264円
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

	指標	耕作放棄地面積									
1	最終目標値	18					単位	h a			
	実績値	平成24年度	26.1	平成25年度	22.2	平成26年度	22	平成27年度	18.7	平成28年度	17.3
	達成度	61 %		72 %		63 %		117 %		0 %	
2	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
3	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
4	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
5	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 交付金総額に対し、町負担率は1/4であり、経費は必要最小限なものである。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 交付金の利用に関し、自由度が高く、また、将来に向け積立もできるため、長期的な効果が十分期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 優良農地の確保といったことから、将来的にも当該制度の必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	農業を取り巻く環境は、年々厳しい状態となっており、集落全体で耕作放棄地の発生防止など農地保全活動に取り組むことが重要である。現在6地区で協定を締結しているが、農地の保安全管理がなされ、景観も良くなることなどから多くの集落で実施することを望むものである。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

農業振興推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	農業従事者の高齢化、担い手不足の課題の解消に努め、農業の振興を図る。					
誰・何を (対象)	農業従事者					
どんなことを ・どのように (内容)	町農業行政の振興を図る上で必要な消耗品の購入や、各種団体への補助金などの支出を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	513	1,025	323	
財源内訳	国県支出金	114	88	7
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	399	936	316

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興用事務用品等購入費 83,920円 ・ 経営所得安定対策郵送料 16,340円 ・ 寺坂棚田トイレ等維持管理業務委託 43,355円 ・ ジュニア農業教室補助金 (小学校130,000円、中学校50,000円)
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	道の駅農産物売上高									
	最終目標値	129,200						単位	千円		
	実績値	平成24年度	75	平成25年度	75	平成26年度	75	平成27年度	245,082	平成28年度	261,240
	達成度	88 %		88 %		88 %		105 %		202 %	
2	指標	耕作放棄地面積									
	最終目標値	16						単位	ha		
	実績値	平成24年度	113	平成25年度	113	平成26年度	113	平成27年度	18.7	平成28年度	17.3
	達成度	72 %		72 %		72 %		117 %		0 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	ジュニア農業教室など効果的な事業を必要最小限の経費で実施しており、その内容は適切なものである。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	就農促進青年交流活動ジュニア農業教室などはこれからの農業を担う若い世代を対象としており、長期的な効果が期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	3/6点	将来における農業後継者を育成することに寄与する事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1点：概ね適切		
総合点数		15/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	少子高齢化社会となり、農業従事者の高齢化、新規就農者の減少により農業者人口が急激に低下している。このような状況を少しでも解消するため、農業に親しむ機会を儲け、土に触れ、収穫の喜びを味わうことにより、担い手の育成につながる事が期待できるため、引き続き実施していきたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

都市農村交流支援事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	農業体験をとおして都市住民との交流活動を促進し、地域の活性化を図る。					
誰・何を (対象)	都市住民・農業者					
どんなことを ・どのように (内容)	県内外で注目されている寺坂棚田の活動等を充実させるため、寺坂棚田保存会及び寺坂棚田学校による都市農村交流活動の推進を支援する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,007	1,004	1,100
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,007	1,004

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寺坂棚田保存会都市交流推進活動 1,000,000円 ホタルかがり火まつり 来場者数9,000人、彼岸花まつり 来場者数4,500人 ・ 寺坂棚田学校都市交流推進活動 100,000円 4/3開校式 5/29田植え 9/11稲刈り 11/6収穫祭 他
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	道の駅農産物売上高									
	最終目標値	129,200						単位	千円		
	実績値	平成24年度	113	平成25年度	113	平成26年度	113	平成27年度	245,082	平成28年度	261,240
	達成度	72 %		72 %		72 %		105 %		202 %	
2	指標	耕作放棄地面積									
	最終目標値	16						単位	h a		
	実績値	平成24年度	26.1	平成25年度	22.2	平成26年度	22	平成27年度	18.7	平成28年度	
	達成度	61 %		72 %		63 %		86 %		0 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	補助金については十分な見直しを実施しており、経費は必要最小限なものである。また、棚田イベントを棚田保全団体である寺坂棚田保存会が中心となって実施したことによる費用対効果は大きく評価できる。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	当該都市交流活動は県内外的に評判も高く、組織活動も活発で、将来への更なる発展も十分に期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	当該事業は自主活動を助成するものだが、その活動は町の将来にとっても大変有益なものであり必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	寺坂棚田学校の参加者は、約3分の2がリピーターであり、人気度が非常に高いので、今後も継続したい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

農業団体助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の農業振興の中核を成す農業生産団体等への活動を活性化させ、農業の振興を図る。					
誰・何を (対象)	農業関係団体					
どんなことを ・どのように (内容)	町農業振興を実施する上で中核を成す町内5団体へ補助金の交付を行い、各組織の活性化を図り、農業の振興を推進する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	591	542	952
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	591	542

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域営農集団育成事業補助金（あしがくぼ観光果樹組合140,000円、観光いちご組合30,000円、横瀬観光ぶどう組合30,000円、横瀬町茶業組合130,000円） ・埼玉北部農業共済組合事業運営費補助金262,000円 ・平成28年度茶・地域特産物振興総合対策事業（茶小規模条件整備事業）補助金360,000円
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	耕作放棄地面積									
	最終目標値	16						単位	ha		
	実績値	平成24年度	16	平成25年度	16	平成26年度	11	平成27年度	11	平成28年度	17.3
	達成度	80 %		80 %		55 %		69 %		0 %	
2	指標	認定農業者数									
	最終目標値	18						単位	人		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	11
	達成度	%		%		%		%		61 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	5/6点	補助金については十分な見直しを実施しており、経費は必要最小限のものである。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	町農業の中核をなす各団体を助成することで、農業生産の長期的な効果が期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	町農業の継続的な発展を目指す上で、当該事業の必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		15/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	小規模で零細農家が多いため、栽培技術や販売方法等の研修、及び情報交換等組合組織で対応する事が必要であり、今後も継続し実施していきたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

有害鳥獣被害防止事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	野生鳥獣による農作物等への被害を防止し、農家に農作物を収穫してもらうため。					
誰・何を (対象)	農業者等					
どんなことを ・どのように (内容)	野生鳥獣による農作物等への被害を防止し、農家に農作物を収穫してもらうため、追い払い用花火及び爆竹の交付、電気柵等の設置に対する設置方法の指導及び補助金の交付、有害鳥獣捕獲事業の武甲猟友会への委託等の対策を実施するもの。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	2,656	2,648	2,360
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	2,656	2,648

【 事業実績 】

実施内容	<p>近年増加し、深刻化しているニホンザルをはじめとする野生鳥獣による農林水産物への被害を防止するために必要な対策を実施するもの。</p> <p>・経費：2,360,466円 「需用費」消耗品費607,766円 「役務費」手数料18,000円 「委託料」一般委託料859,000円 「負担金、補助及び交付金」補助金875,700円</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	鳥獣被害面積					単位	ha			
	最終目標値	2.4									
	実績値	平成24年度	75	平成25年度	75	平成26年度	75	平成27年度	67	平成28年度	0.62
	達成度	88 %		0 %		88 %		79 %		0 %	
2	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標						単位				
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 電気柵等の設置の推進、テレメトリー（無線遠隔測定法）を活用したニホンザルの行動域調査、有害鳥獣捕獲事業等の対策を必要最低限の経費で実施しているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 平成24年度から実施している電気柵等の設置の推進、また、有害鳥獣捕獲事業等の対策によりニホンザルの行動域が変化してきており、今後、被害の減少が期待されることから、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 有害鳥獣被害防止事業は継続して実施しなければ効果は期待できないため、「横瀬町鳥獣被害防止計画」をもとに、効果的な対策を継続的に実施していく必要があると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	野生鳥獣による農作物等への被害の対策として、電気柵等の設置の推進、テレメトリー（無線遠隔測定法）を活用したニホンザルの行動域調査、有害鳥獣捕獲事業等を実施し一定の成果を上げている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

鳥獣捕獲従事者育成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	野生鳥獣による農作物等への被害を防止するために実施する有害鳥獣捕獲事業の従事者を安定的に確保するため。					
誰・何を (対象)	当該年度中に狩猟免許を取得した横瀬町住民基本台帳に記録している者で、有害鳥獣捕獲事業に従事する意思が認められ、町税等を滞納していない者。					
どんなことを ・どのように (内容)	野生鳥獣による農作物等への被害を防止するために実施する有害鳥獣捕獲事業の従事者を安定的に確保するため、当該従事者に必要な資格である狩猟免許の取得者に対して補助金を交付するもの。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	<p>野生鳥獣による農林水産物への被害を防止するために実施する有害鳥獣捕獲事業の従事者を安定的に確保するため、当該従事者に必要な資格である狩猟免許の所得者に対して補助金を交付するもの。</p> <p>平成28年度補助金交付実績なし</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	鳥獣被害面積					単位	ha
	最終目標値	2.4						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	0.62	
	達成度	%	%	%	%	0	%	
2	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
3	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 有害鳥獣捕獲事業に必要な資格である狩猟免許の取得者に対する補助を必要最低限の経費で実施しているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	3/6点 補助金の交付実績はないが、有害鳥獣捕獲事業の従事者を確保する必要がある。そのため狩猟免許の取得に対する補助金は、今後の担い手不足が心配されることから、妥当性は概ね適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 有害鳥獣捕獲事業の従事者確保には継続的に実施しなければ効果は期待できないため、事業周知とともに、継続的に実施していく必要があると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		15/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	一部改善
総合評価	有害鳥獣捕獲事業へ従事する新規の狩猟免許取得者がいなかったため、実績が上がらなかった。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

農業魅力体験事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
			○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策	①町民交流の推進					
何のために (目的・課題)	農業者以外の者が野菜や花等を栽培し、自然と触れ合うことで、農業に対する理解を深めてもらうため。また、農業体験を通じて地域間の交流機会を拡大するため。					
誰・何を (対象)	ブコーさんのうららか農園利用者					
どんなことを ・どのように (内容)	ブコーさんのうららか農園の適切な管理運営を行うもの。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	62	46	35
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	62	46

【 事業実績 】

実施内容	<p>埼玉県から平成22年度に購入した土地を、市民農園（ブコーさんのうららか農園）として運営するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末利用区画：9区画／12区画 ・利用期間：4月1日から3月31日まで（年度） ・利用料：2,000円／1区画 ・区画：80㎡程度9区画、100㎡程度3区画 ・経費：35,332円 「需用費」消耗品費1,912円 「委託料」一般委託料33,420円
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	耕作放棄地面積					単位	ha
	最終目標値	16						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	17.3	
	達成度	%	%	%	%	0	%	
2	指標	認定農業者数					単位	人
	最終目標値	18						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	11	
	達成度	%	%	%	%	61	%	
3	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 消耗品は必要最低限のものを購入し、また、除草作業等については横瀬町シルバー人材センターに委託し実施しているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 横瀬町特定農地貸付規程に基づき、適切に貸付が行われているため、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 多くの利用者がいることなどから、今後も実施する必要性があると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	当該事業は「農業者以外の者が野菜や花等を栽培し、自然と触れ合うことで農業に対する理解を深めること及び農業体験を通じて地域間の交流機会の拡大」を目的としており、また、多くの利用者がいることなどから、今後も継続して実施することが必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	一部改善
最終評価	ブコーさんうららか農園のようなちょっとした畑があるというのは重要であり、今後もニーズが高いと思われる。しかし、利用料金が安く、維持管理料も賄えていない現状は検討の余地がある。したがって一部改善とする。

行政評価票

地域活性化対策事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	3 商工業の振興					
その他の関連する施策		①労働環境の充実				
何のために (目的・課題)	商工業者の意識の高揚と人材育成を推進するとともに、地域の活性化を図るため。					
誰・何を (対象)	商工業者及び一般住民					
どんなことを ・どのように (内容)	地域活性化セミナーの開催や優良従業員の表彰を行う。 また、地元商工団体等が実施する地元活性化対策事業に対し、補助金を交付する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,500	1,621	1,600
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,500	1,621

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化セミナーの開催 テーマ「花による地域活性化～花で創り出す感動の世界～」 講師：英国園芸研究家／ガーデンデザイナー 吉谷桂子氏 参加者90名 ・地元商業活性化対策事業「元気を当てようキャンペーン」に対し補助金を交付 (1,500,000円)
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	小規模事業者登録者発注金額									
	最終目標値	5,500					単位	千円			
	実績値	平成24年度	25	平成25年度	78	平成26年度	100	平成27年度	121	平成28年度	2,998
	達成度	71 %		78 %		100 %		121 %		55 %	
2	指標	地域活性化セミナー参加者数									
	最終目標値	60					単位	人			
	実績値	平成24年度	25	平成25年度	59	平成26年度	42	平成27年度	201	平成28年度	90
	達成度	71 %		168 %		120 %		335 %		150 %	
3	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	5/6点	町観光・産業振興協会との連携により、経済的・効率的に事業が実施できた。地域活性化セミナーについては、現在の予算では講師の質に限界があるため、関係団体と共催するなどして質の向上を図りたい。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	地元商業活性化対策事業補助金は、若手事業者・後継者を中心とした新たな活性化事業の展開に寄与するものであることが望ましい。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	地元商工団体の積極的な活動を推進・支援していくことが、地域活性化に必須である。セミナーの開催は、事業者や住民に対し、経営改善のヒントを得る機会や自己啓発の機会を与えるには有効な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		15/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	一部改善
総合評価	地域活性化セミナーは、事業者・一般住民の貴重な啓発機会として、引き続き実施して行きたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

町内事業者支援事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	3 商工業の振興					
その他の関連する施策	①地球温暖化対策の推進 ②労働環境の充実					
何のために (目的・課題)	地域経済の安定を図るため、新規創業や円滑な事業承継、強みを活かした計画経営を推進し、地元中小企業経営の健全な発展に寄与する。					
誰・何を (対象)	町内事業者					
どんなことを ・どのように (内容)	町内事業者の経営改善・経営基盤強化のための新たな取組み、並びに新規創業や第二創業を促進するとともに、環境と調和した企業経営を推進するため、各種補助金を交付する。 また、大雪の影響により被害を受けた事業者の安定経営を支援するため、補助金を交付する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	2,260	2,353	2,043
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		350
	その他		
	一般財源	2,260	2,003

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業融資制度資金借入利子補給金の交付 34件 500,909円 ・ 中小企業経営基盤強化支援補助金の交付 2件 100,000円 ・ 中小企業退職金共済掛金助成金の交付 1件 467,200円 ・ 中小企業雪害対策利子補給金の交付 10件 975,483円
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	小規模事業者登録発注金額					単位	千円
	最終目標値	5,500						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	2,998	
	達成度	%	%	%	%	55	%	
2	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
3	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 町内事業者の発展に寄与する上で必要な経費の執行ができた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 町として町内事業者を支援する上で適切である。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 設備投資や雇用増進等を含め、企業の成長のため、更なるニーズの開拓が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	町内事業者を支援する目的に対し、一定の成果を上げている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

地域振興拠点施設管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策	①農業の振興					
何のために (目的・課題)	地域振興拠点施設の一層の整備・充実を図るため。					
誰・何を (対象)	道の駅果樹公園あしがくぼ					
どんなことを ・どのように (内容)	地域振興拠点施設の老朽化等に伴い、必要な箇所の修繕や新たな交流促進を図る施設整備を行う。また、今後の施設整備を計画的に行うため、将来に向け、基金の積立を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	8,862	9,889	6,430	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	7,804	9,505	
	一般財源	1,058	384	6,430

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕（自動ドア修繕、水栓交換ほか） 1,392,660円 ・農産物加工場屋根洗浄作業 299,916円 ・施設用備品購入費（粉碎機、パン発酵機） 1,927,424円 ・施設整備基金への積立 2,810,000円
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	道の駅農産物等売上高									
	最終目標値	129,200						単位	千円		
	実績値	平成24年度	634,600	平成25年度	660,000	平成26年度	647,000	平成27年度	696,900	平成28年度	261,240
	達成度	95 %		99 %		97 %		104 %		202 %	
2	指標	町年間観光入込客数									
	最終目標値	700,000						単位	人		
	実績値	平成24年度	146,836	平成25年度	130,328	平成26年度	184,911	平成27年度	245,639	平成28年度	704,954
	達成度	98 %		87 %		123 %		144 %		101 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	3/6点	施設の適正な維持管理を図るもので必要不可欠なもの。適正な見積り取得により経費をできるだけ抑えている。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5/6点	適正な施設の保守点検を実施していることにより、施設の大きな損傷を防いでいる。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	将来的な施設の損傷を必要最小限にするため、適正な修繕を実施しており、その必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		13/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	道の駅はオープン以来10年が経過し、修繕箇所も増加し、施設設備全体が老朽化してきている。施設の外壁等の美観の保全や厨房備品等の修繕等を計画的に進める一方で、突発的な修繕も発生しており対応に追われている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

観光PRキャンペーン等事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策		①観光の振興				
何のために (目的・課題)	自然を活かした魅力ある観光資源等をPRすることで、多くの観光客に何度でも訪れてもらうため。					
誰・何を (対象)	観光客					
どんなことを ・どのように (内容)	PRキャンペーン、PR用パネル作成、WEB管理運営、ガイドマップ作成及び映像の活用など、町外の方に対しPRを行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,949	1,448	1,207
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,949	1,448

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●魅力発信等強化事業委託479,628円 (観光Webサイト管理：訪問者236,967人) ●観光キャンペーンPR活動等に係る出張旅費32,253円 ●各種負担金 (芝桜まつり、アニメツーリズム、彩の国秩父地域観光協議会、外国人観光客誘致推進協議会等) 688,000円等
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町年間観光入込客数						
	最終目標値	700,000					単位	人
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	704,954	
	達成度	%		%		101 %		
2	指標	観光・産業振興協会ホームページの年間アクセス数						
	最終目標値	170,000					単位	件
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	236,967	
	達成度	%		%		139 %		
3	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%		%		%		
4	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%		%		%		
5	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	観光PRを実施する上で適切な経費の執行ができた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	計画どおりの執行ができた。出張旅費について、予算を 勘案し必要に応じて執行することができた。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	ニーズに対し逐次適切に対応し、反映をすることができ た。 今後も情報をより効果的・効率的に発信していく必要が ある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	観光情報の発信を適切に行う事で、観光客の誘客に寄与することができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

観光イベント開催事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
				○	継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策	①観光の振興					
何のために (目的・課題)	多くの観光客に訪れてもらい、町内での消費が活発に行われることで、観光産業の発展を図る。					
誰・何を (対象)	観光客					
どんなことを ・どのように (内容)	【里山巡】基本コース※歩きたくなる町の基本コースづくり【里山まるまるシェ】地元の方が自宅軒先等で農産物や手作り品の販売など、ある程度コース限定した里山あるきのイベントの開催。【フォトロゲイニング】指定したスポットで写真を撮るコース限定しないオリエンテーリングイベントの開催。【Cafe Tera's : カフェテラス】各札所にカフェテラスを整備していただき、情報発信・交流拠点機能を追加。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費		48	929
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		48

【 事業実績 】

実施内容	<p>①観光ガイド印刷製本:事業費324,00円、20,000部作成 ②第1回里山まるマルシェ(5/22):事業費110,906円、参加者210名、出店者数15店、抽選会 ③観光電車イベント用ポスター作成:2種類×5枚 ④第2回里山まるマルシェ(11/6):事業費164,494円、参加者308名、出店者数18店、抽選会など ⑤ゆるっとARよこぜ巡2016秋(11/23 立教大学・武蔵野銀行連携):事業費81,380円、参加者25名 ⑥立教大学連携事業(あしがくぼの氷柱):事業費109,623円 等</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町年間観光入込客数						単位	人
	最終目標値	700,000							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	704,954		
	達成度	%	%	%	%	101	%		
2	指標	観光・産業振興協会ホームページの年間アクセス数						単位	件
	最終目標値	170,000							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	236,967		
	達成度	%	%	%	%	139	%		
3	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			
4	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			
5	指標							単位	
	最終目標値								
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	達成度	%	%	%	%	%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 大学と連携しながら、イベントを開催することで、企画立案や当日スタッフなど、態勢が更に調い、効率的な事業実施ができた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 大学と連携して事業を行うことで、若者の誘客促進にとって、長期的な効果が期待できる。また、総合戦略に基づき実施している。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 大学と連携して事業を行うことで、若者ニーズを的確に捉えた事業展開ができる。また、タウンプロモーションにとっても効果的である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	大学と連携しながら、効果的にイベントを実施できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

よこぜまつり補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策	①文化財の保護・継承 ②町民交流の推進					
何のために (目的・課題)	横瀬町のPR、商業・文化の振興並びに町民の福祉の増進を図るため。					
誰・何を (対象)	よこぜまつり実行委員会					
どんなことを ・どのように (内容)	よこぜまつり実行委員会に対し補助金を交付する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,811	2,000	2,000
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,811	2,000

【 事業実績 】

実施内容	よこぜまつり実行委員会に対して補助。2,000千円 第39回よこぜまつりと彼岸花まつりを同日開催:4,500人来場(雨天影響有) 事業内容:従来の催し物に加え、次の事業を実施。①大宮アルディージャによるサッカー教室:参加者48名(武蔵野銀行連携事業) ②アニメ、ここさけ公開1周年記念ラリーイベント:152名 オリジナルステッカーをプレゼント③次世代料理人の飲食店開設(秩父飲食店組合) ④来賓接待所の設置 ⑤町道9号線交通規制
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 経費節減に努めたため、必要最小限の経費でイベント運営が図れ、彼岸花まつりと同日開催したことで、事業連携も図れた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	4/6点 観光客の増加を図るため、9月の彼岸花まつりと同日開催したが、悪天候の影響で客足が伸びなかったことから、実行委員会の意見を踏まえ、晴天率の高い10月に移行する。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 住民ニーズを的確に捉えながら、開催内容等の検討を随時行っていくことが必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		15/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	一部改善
総合評価	町の活性化及び誘客促進のため必要な事業であり、経費を削減し、効果的なまつりとする必要があるとともに、常に創意工夫を凝らし盛り上げて実施して行くことが大事である。 屋外のイベントのため、天候に左右されることが多く、会場の設営、運営方法等教育委員会・町民会館とも連携し改善を図りたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

横瀬町観光・産業振興協会運営費補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	観光振興を促進するため。					
誰・何を (対象)	横瀬町観光・産業振興協会					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬町観光・産業振興協会に対し運営費の一部を助成する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	6,000	8,866	9,500
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	6,000	8,866

【 事業実績 】

実施内容	<p>町観光・産業協会に対して、補助を行った。9,500千円</p> <p>●主な事業</p> <p>芝桜駐車場・入場券売場運営事業、元気を当てようキャンペーン事業、婚活イベント事業、あしがくぼ氷柱事業、活性化セミナー事業、レンタサイクル事業など</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町年間観光入込客数									
	最終目標値	700,000							単位	人	
	実績値	平成24年度	634,600	平成25年度	660,000	平成26年度	647,000	平成27年度	696,000	平成28年度	704,954
	達成度	95 %		99 %		97 %		105 %		101 %	
2	指標	観光・産業振興協会ホームページの年間アクセス数									
	最終目標値	170,000							単位	件	
	実績値	平成24年度	146,836	平成25年度	130,328	平成26年度	184,911	平成27年度	245,639	平成28年度	236,967
	達成度	98 %		87 %		123 %		164 %		139 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	ブコーさん観光案内所の運営も含め、必要最小限の経費で効率的な運営が図られた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	観光客へのSNSなどを活用した情報発信、ニーズにあった誘客事業など、長期的な視点で協会運営が図られた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	観光客と接する案内所を運営することで、最新のニーズを的確に捉えた事業実施ができた。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	拡大
総合評価	観光案内の充実のため、観光事業の充実、リピーターの確保のため引き続き実施する。 道の駅への移転について、検討開始の準備を進める。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

遊休地活用再生事業（地方創生加速化交付金 H27繰越業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために （目的・課題）	遊休公有地を活かした魅力ある観光資源等を創出し、多くの観光客に訪れてもらうため。					
誰・何を （対象）	観光客					
どんなことを ・どのように （内容）	遊休公用地の活用・整備等					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成26年度 （実績）	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）
総事業費	170		36,266
財源内訳	国県支出金		36,266
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	170	

【 事業実績 】

実施内容	平成28年3月29日 地方創生加速化交付金の交付決定（繰越明許）36,720千円、平成28年9月30日（仮称）花咲山公園に係る産学協同プロジェクトとして武蔵野美術大学と研究委託を締結、平成29年1月25日～3月31日 雑木片付け作業・穴掘り作業・植樹作業（2月17日・3月21日 中止）：56日間 参加者延べ805名、平成29年4月9日 春の植樹イベント 参加者：133名 スタッフ：11名
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位				
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
2	指標						単位				
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標						単位				
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標						単位				
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標						単位				
	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 10割の補助金を活用し、町内外から様々なボランティアを募って、作業や植栽を行うことができた。また、西武鉄道と連携し、環境活動プロジェクトも行った。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 誘客に効果的である花の拠点を整備したことで、植樹した花木は小さいものもあるが、長期的な効果が期待できる。また、芸術系の大学と連携し、若者をターゲットとした「アート」を融合した拠点も整備した。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 シニア世代と若者のニーズを捉えた誘客の拠点施設となっており、さらに、町民の憩いの場所となっているため、必要性が高い重要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	一部改善
総合評価	限られた時間の中で、大勢のボランティアの協力を得て事業を完了することができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

労働対策事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	5 労働環境の充実					
その他の関連する施策	①商工業の振興					
何のために (目的・課題)	労働者が意欲を持って就労できる環境づくりと雇用機会の確保・拡大を図るため。					
誰・何を (対象)	勤労者及び失業者 町内事業者 労働・雇用対策事業実施団体					
どんなことを ・どのように (内容)	労働者への住宅資金貸付や、就業支援・労働環境の改善に関する情報提供を行う。 雇用対策事業を実施する団体への事業協力並びに秩父地区メーデーへの助成を行う。 UJIターン者及びそれらを雇用する中小企業者に対し奨励金を交付する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	393	50	452
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	393	50

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定住就職促進奨励金の交付 就職者20,000円 事業所10,000円 ・平成26年度埼玉県緊急雇用創出基金市町村事業費補助金返還金369,977円 ・埼玉県雇用開発協会への負担金、秩父地区メーデーに対する助成金 等 ・産業労働者住宅資金貸付制度 貸付残高1,751,541円
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	雇用促進などの啓発回数					単位	回			
	最終目標値	25									
	実績値	平成24年度	19	平成25年度	22	平成26年度	25	平成27年度	19	平成28年度	10
	達成度	95 %		110 %		125 %		76 %		40 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%			%			%			
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%			%			%			
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%			%			%			
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%			%			%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 団体への負担金、助成金については、活動内容・規模から見て必要最小限である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	4/6点 就業支援・雇用対策事業については、町単独で事業を実施するよりも、秩父地域全体で広域的に事業展開していくべきである。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 1市4町共働による創業支援や企業誘致が今後ますます重要となる。 若者のUJIターンを促進するため、横瀬町定住就職促進奨励金交付要綱を制定した。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		15/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	一部改善
総合評価	労働、雇用対策事業については、秩父地域全体で事業展開して行くことが効果的であり、定住自立圏事業との連携を図ることが重要である。 定住就職促進奨励金については、制度PRが十分浸透していなかったこともあり期待した成果が上がらなかった。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

消費生活相談事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	6 消費生活の安定・向上					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	健全な消費生活を支援するため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H28.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	住民からの相談に対応するため、消費生活相談窓口業務を秩父市に委託する。 また、相談窓口の周知のほか、パンフレット等による消費者啓発を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	127	120	132
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	127	120

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談窓口を秩父市に委託 消費生活トラブル事例等を庁舎内に掲示及び広報にて周知 消費生活相談件数 28件 消費生活支援センター熊谷と共同で高齢者の消費者被害防止講座を2回開催
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	消費生活関連の被害・トラブルに関する年間相談件数									
	最終目標値	12						単位	件		
	実績値	平成24年度	21	平成25年度	18	平成26年度	38	平成27年度	29	平成28年度	25
	達成度	70 %		60 %		126 %		96 %		0 %	
2	指標	消費者被害防止の啓発回数									
	最終目標値	40						単位	回		
	実績値	平成24年度	30	平成25年度	33	平成26年度	41	平成27年度	56	平成28年度	54
	達成度	86 %		94 %		117 %		140 %		135 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町の1市4町共同で秩父市に相談窓口を設置し、相談員の配置による人件費等の経費削減を図っている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 相談員は専門的な知識が必要であること、また町の人口・相談件数を考慮すると、町単独では相談窓口を設けず、秩父市に相談業務を委託する現在の体制を保つべきである。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 消費者被害防止のため、引き続きトラブル事例の紹介と併せて相談窓口の周知に努めることが重要である。また、高齢者の消費者被害防止のために、今後も福祉部門との連携を強化していくことが必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	現状維持
総合評価	1市4町の共同相談窓口を設けることで、経済的・効率的な対応と消費者啓発が実施できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

住宅用太陽光発電システム設置費補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	3 地球温暖化対策の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	地球温暖化防止のため、省エネルギー対策に資するため。					
誰・何を (対象)	町内に自ら居住または居住予定の住宅					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬町に居住（又は居住予定）する住宅に住宅用太陽光発電システムを設置する者に補助金を交付する (太陽電池出力値1kw当たり2.5万円で、3kw7.5万円を限度)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,493	1,050	675
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,493	1,050

【 事業実績 】

実施内容	<p>住宅用太陽光発電システムを設置する者に補助金を交付した。</p> <p>補助金交付件数 9件</p> <p>交付件数内訳 ・出力値3.0～4.0kw未満 3件 225千円 ・出力値4.0～5.0kw未満 3件 225千円</p> <p>・出力値5.0kw以上 3件 225千円</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		住宅用太陽光発電システムの補助件数（累計）									
1	最終目標値	150						単位	件		
	実績値	平成24年度	116	平成25年度	146	平成26年度	166	平成27年度	180	平成28年度	189
	達成度	86 %		108 %		123 %		134 %		126 %	
指標											
2	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
3	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
4	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
5	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点	経費は、必要最小限であり妥当である。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点	総合振興計画に基づいて、計画的に推進していく。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	省エネルギー対策として推進していくが、今後は蓄電池等の設置に対しても補助の検討が必要と思われる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		15/18点		

【 総合評価 】 評価者： 新井 幸雄

今後の方針	一部改善
総合評価	省エネ・クリーンエネルギー対策、地球温暖化防止対策としての実施事業であり、身近に利用できるクリーンエネルギーとして需要が高まり、多くの住民に受け入れられている事業であるが、申請件数は多くない。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

防災安全対策事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	2 道路・交通網の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	道路交通の安全確保のため。					
誰・何を (対象)	町道					
どんなことを ・どのように (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路橋78橋のうち20橋の点検(近接目視)を実施するため。 ・町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、上大堀橋、背戸堀橋の補修工事を実施するため。 					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	37,704	11,397	32,833	
財源内訳	国県支出金	20,273	5,984	18,048
	地方債			3,700
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	17,431	5,413	11,085

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁定期点検 51橋 24,419,880円 ・背戸堀橋長寿命化修繕工事 2,607,120円 ・上大堀橋長寿命化修繕工事 5,806,080円
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

	指標	橋梁長寿命化計画に基づく橋梁修繕						
1	最終目標値	13					単位	橋
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	10	
	達成度	%		%		77 %		
2	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
3	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
4	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
5	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 社会資本整備総合交付金を活用し、経済的・効率的に妥当であった。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 橋梁長寿命化計画に基づき修繕することにより、橋梁の長寿命化が得られた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 橋梁の老朽化が進むなか適切な維持修繕を行うことにより、長寿命化が図れた。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 新井 幸雄

今後の方針	現状維持
総合評価	社会資本整備交付金を活用し、定期点検及び長寿命化修繕ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

道路新設改良事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	2 道路・交通網の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町道の安全性の向上及び住民生活の利便性向上に資するため。					
誰・何を (対象)	町道					
どんなことを ・どのように (内容)	整備の緊急性・必要性などを考慮した優先順位により、町道の新設・改良工事、歩道整備工事、舗装新設工事を行う。(工事に伴う測量調査設計委託、用地買収、物件補償含む。)					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,449	2,553	4,494
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,449	2,553

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品費 119,160円 ・ 国道299号及び道の駅駐車場交通量調査業務委託 498,960円 ・ 町道3228・3229号線測量業務委託 375,846円 ・ 町道3208号線外測量・設計業務委託 2,521,800円 ・ 町道3228号線土地購入費 978,684円
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町道改良延長										
	最終目標値	67.7						単位	km			
	実績値	平成24年度	64.42	平成25年度	64.42	平成26年度	63.2	平成27年度	63.3	平成28年度	63.3	
	達成度	98 %		98 %		0 %		96 %		94 %		
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度											
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度											
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度											
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度											

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	改良箇所については、経済性の観点からも適切で効果的な工法であった。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	4/6点	懸案箇所の改良が実施できたので、長期的な視点からも維持管理が容易となった。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点：概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	住民からの要望箇所であり、ニーズに応えることができた。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 新井 幸雄

今後の方針	現状維持
総合評価	利便性、安全性の高い生活基盤の整備は、路線選択による計画的・継続的な実施が必要不可欠である。また、コストを意識した時代に相応する工法を採用していく。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

社会資本整備総合交付金町道整備事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
				○	改善	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	2 道路・交通網の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	生活道路である町道の安全かつ快適な道路空間整備を行うことにより、移動の利便性及び安全性の向上、高齢者や身体障がい者等の移動に際しての身体の負担の軽減を図るため。					
誰・何を (対象)	町道					
どんなことを どのように (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・5号線 改築工事(11、12区地内)、下横瀬橋拡幅補強工事(既存床版上面補強) ・5号線(字12番、13番工区) 改築工事 ・9号線 改築工事(17区地内) ・118号線 改築工事 ・3175号線 新設・改築工事(字赤穂木、拾番地内) 					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	114,683	267,830	267,987
財源内訳	国県支出金	89,210	119,975
	地方債		88,700
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	114,683	178,620

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・測量設計等委託料 7,445,572円 ・町道5号線改築工事 L=176m 29,300,937円 ・下横瀬橋拡幅補強工事 L=72m 85,601,880円 ・町道9号線改築工事 L=33m 4,682,880円 ・町道3175号線等土地購入費 70,631,293円 ・町道3175号線等補償金 70,324,602円
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町道改良延長					単位	km
	最終目標値	67.7						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	63.3	
	達成度	%	%	%	%	94	%	
2	指標	橋梁長寿命化計画に基づく橋梁修繕					単位	橋
	最終目標値	13						
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	4	
	達成度	%	%	%	%	31	%	
3	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	達成度	%	%	%	%	%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 社会資本整備総合交付金を活用し、経済的・効率的に妥当であった。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 拡幅及び歩道整備を行うことにより、利便性・安全性の向上が得られた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 通学路の安全確保及び高齢化に伴う移動手段の多様化に対応した拡幅及び歩道整備は必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 新井 幸雄

今後の方針	現状維持
総合評価	社会資本整備交付金を活用し、計画的に道路改築工事が実施できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

ウォーターパーク・シラヤマ管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		改善	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	3 居住環境の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	だれもが、いつでも安心・安全に利用できる身近な公園とするため。					
誰・何を (対象)	ウォーターパーク・シラヤマ					
どんなことを ・どのように (内容)	一部管理委託等維持管理全般を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,594	1,448	1,546
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,594	1,448

【 事業実績 】

実施内容	<p>ウォーターパーク・シラヤマの維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 15,638円 ・光熱水費 261,829円 ・修繕料 56,160円 ・施設管理等委託料 491,924円 ・賃借料 715,200円 ・負担金 6,000円
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	ウォーターパークシラヤマの年間利用者数									
	最終目標値	5,700							単位	人	
	実績値	平成24年度	5,703	平成25年度	5,755	平成26年度	6,200	平成27年度	6,447	平成28年度	6,651
	達成度	106 %		107 %		115 %		119 %		117 %	
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 事業費は必要最小限にとどめられており、妥当であると思われる。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 子供や家族連れ世帯の利用も多く、憩いの場として住民の方々に利用されている。今後も適切な維持管理に努め、利用者の安全を確保してゆく。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 複合遊具および健康遊具の設置を行い、子供たちを中心に住民の方々に利用されている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 新井 幸雄

今後の方針	現状維持
総合評価	多くの町民等に憩いの場として利用されている横瀬町で唯一の都市公園施設であり、引き続き施設整備等を進めていく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

住宅リフォーム補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		新規	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	3 居住環境の整備					
その他の関連する施策	①商工業の振興					
何のために (目的・課題)	町民の定住を促進し、町内リフォーム業者を支援及び居住環境の改善を促進するため。					
誰・何を (対象)	リフォームを行う町民					
どんなことを ・どのように (内容)	町内業者が請け負う20万円以上のリフォーム改修費の10%を補助する。10万円を上限。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	400	237	100
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	400	237

【 事業実績 】

実施内容	住宅のリフォーム工事をした者に補助金を交付した。 申請件数 1件
------	-------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	改修住宅棟数（累計）					単位	棟			
	最終目標値	50									
	実績値	平成24年度	17	平成25年度	22	平成26年度	26	平成27年度	29	平成28年度	30
	達成度	7 %		9 %		10 %		12 %		60 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 経費は必要最小限と思われる。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 空家の再利用及び居住者の高齢化に伴い、今後さらに効果が見込める。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 空家対策及び居住者の高齢化により将来において必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 新井 幸雄

今後の方針	一部改善
総合評価	町内のリフォーム業者の支援及び居住環境の整備等に資するために必要な事業であり、耐震診断・改修の促進にも繋がる事業である。また、補助制度の詳細なPRを広報等を通じて徹底して行くことが必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

排水設備工事助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	5 下水道の整備					
その他の関連する施策	①地域環境づくりの推進 ②自然環境づくりの推進					
何のために (目的・課題)	水洗化促進を図るため。					
誰・何を (対象)	排水設備工事を実施した町民					
どんなことを ・どのように (内容)	下水道供用開始後、浄化槽から改造の場合は1年以内（汲み取りからの改造は3年以内）に下水道へ接続するための排水設備工事を行う者に対し、助成金を交付する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,250	2,900	1,050
財源内訳	国県支出金	300	
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	950	2,900

【 事業実績 】

実施内容	<p>○平成28年4月1日から下水道が供用開始された区域内において、下水道へ接続する排水設備工事を行う住民に対して工事費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数：21件 ・交付金額：1,050千円(50千円×21件)
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	公共下水道普及率									
	最終目標値	81.6						単位	%		
	実績値	平成24年度	80.1	平成25年度	81.2	平成26年度	82.3	平成27年度	82.1	平成28年度	73.9
	達成度	88 %		90 %		90 %		91 %		91 %	
2	指標	公共下水道水洗化率									
	最終目標値	87						単位	%		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	83.4
	達成度	%		%		%		%		96 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	水洗化を図るため、排水設備工事費の助成を行うことにより住民の負担を軽減しつつ、水洗化を進めることは適切である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	浄化槽等から下水道への転換に対して工事費の助成を行うことは水洗化を促進する上で妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	水洗化率の上昇から下水道に対する住民のニーズが高く、より衛生的な生活を営めるようにするために必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 新井 幸雄

今後の方針	現状維持
総合評価	下水道供用開始後、町民が下水道へ接続するための経済的負担を軽減し、接続率の向上に寄与している。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

下水道啓発事務		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	5 下水道の整備					
その他の関連する施策	①地域環境づくりの推進 ②自然環境づくりの推進					
何のために (目的・課題)	下水道を正しく理解し、水環境保護に対する意識を醸成するため。					
誰・何を (対象)	下水道事業区域内及び下水道計画区域内の住民 4,300人					
どんなことを どのように (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・よこぜまつりでの下水道なんでも相談所の開設や出前講座を実施し、ビデオや実験を通して、水質浄化の仕組みを啓発する。 ・下水の新規使用者へ下水道のしくみや排水時の注意事項等を記載したパンフレットを配布。 ・新たに供用開始される区域の世帯に対し、助成金等の案内を記載したチラシを配布。 					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	12	120	10
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	12	120

【 事業実績 】

実施内容	<p>○下水道事業への理解等を深め下水道接続率を向上させるための啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道PRブースの設置(9/23実施よこぜまつり会場)：来場者数約180名 ・次年度に供用開始になる区域の世帯に対して個別訪問を実施し、チラシ・パンフレットの配布を行った。 <p>訪問件数：24件</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	公共下水道普及率									
	最終目標値	81.6						単位	%		
	実績値	平成24年度	80.1	平成25年度	81.2	平成26年度	82.3	平成27年度	82.1	平成28年度	73.9
	達成度	88 %		90 %		91 %		91 %		91 %	
2	指標	公共下水道水洗化率									
	最終目標値	87						単位	%		
	実績値	平成24年度	178	平成25年度	365	平成26年度	245	平成27年度	230	平成28年度	83.4
	達成度	119 %		243 %		163 %		153 %		96 %	
3	指標	出前講座、下水道教室の参加者数									
	最終目標値	460						単位	人		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	180
	達成度	%		%		%		%		39 %	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	町民が多く集まるよこぜまつりの機会を利用して幅広い年齢層の町民に効率的に周知することが出来た。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	町民に広く周知することができ、下水道への理解と水環境保護に対する意識づけができる事業として妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	横瀬川の水質保全のため、今後も継続的に実施していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 新井 幸雄

今後の方針	現状維持
総合評価	下水道の面整備により年々供用開始区域が拡大しているが、新たに供用開始区域となる地域はもちろん、既に供用開始となっている地域については、より一層の下水道普及を推進する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

特定環境保全公共下水道事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	5 下水道の整備					
その他の関連する施策	①地域環境づくりの推進 ②自然環境づくりの推進					
何のために (目的・課題)	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため。					
誰・何を (対象)	下水道事業認可区域内の住民 3,800人					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬地内の下水道事業区域で未普及区域を対象に下水道の整備を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	123,140	83,279	67,856	
財源内訳	国県支出金	52,800	31,000	25,600
	地方債	50,700	39,000	38,400
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	19,640	13,279	3,856

【 事業実績 】

実施内容	<p>○下水道事業計画区域内において下水道整備に伴う管渠築造工事及び舗装復旧工事を実施した。</p> <p>●整備面積 2.72 ha</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道管渠築造工事：13区地内川東汚水支線387工事等 562m ・舗装復旧工事：12区地内横瀬汚水支線290舗装復旧工事等 1,068m 4,633㎡
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	公共下水道普及率									
	最終目標値	81.6						単位	%		
	実績値	平成24年度	29.7	平成25年度	31.4	平成26年度	35.3	平成27年度	36.9	平成28年度	73.9
	達成度	98 %		100 %		116 %		122 %		91 %	
2	指標	公共下水道水洗化率									
	最終目標値	87						単位	%		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	83.4
	達成度	%		%		%		%		96 %	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	公共用水域の水質保全を公共下水道により改善する事業としては適切である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	公衆衛生上の問題を公共下水道により改善する事業として妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	水洗化率が高いことから町民の要望が高いこと、横瀬川の水質保全のために下水道整備は必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 新井幸雄

今後の方針	現状維持
総合評価	下水道水洗化率83.4%となった。 今後も事業区域の面整備を進めるとともに、全体計画を見据え今後の事業展開を検討する。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

青少年教育活動費助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策		①青少年の健全育成				
何のために (目的・課題)	青少年の健全育成を目的に活動している団体（青少年相談員協議会・青少年育成横瀬町民会議）に補助金を交付し、その活動を支援する。					
誰・何を (対象)	青少年相談員 11人					
どんなことを ・どのように (内容)	季節ごとの主催行事（中学生キャンプ、パスレクツアー等）や町の行事にも積極的に参加している。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	610	610	610
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	610	610

【 事業実績 】

実施内容	・ 2団体に補助金交付	
	町青少年相談員協議会活動費補助金	360,000円
	青少年育成横瀬町民会議事業費補助金	250,000円

【 目標指標 】

1	指標	家庭教育支援事業参加者数						単位	人		
	最終目標値	250									
	実績値	平成24年度	144	平成25年度	133	平成26年度	133	平成27年度	115	平成28年度	129
	達成度	29 %		27 %		27 %		0 %		52 %	
2	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	事業を実施するに当たり、必要最低限な予算である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	事業計画に沿った活動ができている団体であり、継続しての交付が望ましい。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	長期にわたり、計画的に事業を実施している。特に、青少年相談員の活動は、児童・生徒にも浸透しており、必要とされている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	青少年育成町民会議は、現在青少年問題が落ち着いていることから、平常時の啓発活動を実施している。青少年相談員は、良き子ども達のリーダーとして、町内の児童生徒を対象に主催事業を実施している。そのほかに、町の事業にも参加協力している。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

成人式事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	当該年度に満20歳を迎える町民（以下、「新成人」という。）を町及び関係機関が祝福・激励し、新成人が責任ある自立した社会人としてより良い社会の創造に貢献していくことを決意する機会を与えるため。					
誰・何を (対象)	新成人 100人					
どんなことを どのように (内容)	成人の日（祝日）の前日の日曜日に、町民会館を会場に、新成人を対象に成人式を開催する。成人式式典は、新成人による実行委員により進行する。11月に成人式対象者へ往復はがきによる式典開催案内の発送及び参加の有無の確認を行う。式典終了後、全員で記念写真を撮影し、後日記念品として送付する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	110	102	99
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	110	102

【 事業実績 】

実施内容	・平成29年横瀬町成人式開催 (1/8実施、76名参加)
------	------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	社会教育主催事業の参加者数									
	最終目標値	3,500							単位	人	
	実績値	平成24年度	2,689	平成25年度	2,593	平成26年度	2,814	平成27年度	3,106	平成28年度	3,298
	達成度	69 %		66 %		72 %		80 %		94 %	
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	成人式の記念品は、当日撮影した集合写真のみとなり、経費は最小限に抑えている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	開催日、所要時間等の変更予定はなく、確立されている状況を維持する。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	新成人をお祝いする式典として、今後も継続していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	成人者が運営に関わり、厳肅な成人式ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

社会教育振興事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策	①文化・芸術活動の充実 ②青少年の健全育成					
何のために (目的・課題)	社会教育の振興を目指し、社会教育事業全般の指導・調整を行うとともに、社会教育団体を育成し、社会教育、家庭教育、青少年教育等を充実させる。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	社会教育委員会の開催、主催事業の連絡調整、子育て講座の開催、青少年教育をとおして健全育成を行う。社会教育・青少年教育団体へ補助金交付を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,807	1,623	1,609
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,807	1,623

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会開催 ・子育て講座の開催 (マタニティスクール2回、就学時健診) ・2団体に補助金交付 <p>町文化協会事業費補助金 1,300,000円 町子ども会連絡協議会事業費補助金 250,000円</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	社会教育主催事業の参加者数									
	最終目標値	3,500						単位	人		
	実績値	平成24年度	2,689	平成25年度	2,593	平成26年度	2,814	平成27年度	3,106	平成28年度	3,298
	達成度	69 %		66 %		72 %		80 %		94 %	
2	指標	公民館の年間利用者数									
	最終目標値	35,000						単位	人		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	26,908
	達成度	%		%		%		%		77 %	
3	指標	家庭教育支援事業参加者数									
	最終目標値	250						単位	人		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	129
	達成度	%		%		%		%		52 %	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 公民館運営審議会委員と社会教育委員は兼任のため、委員報酬は1/2負担となっている。年2回の会議で、効率よく執行できた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5/6点 概ね予定どおりの実施ができた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 年2回実施した子育て講座は、対象者が毎回違うため、継続して実施することが必要であり、参加者からも好評を得ている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	子育て講座の開催や、文化協会など自主的活動への支援ができた。 少子化の中、子育て講座の開催にあたっては工夫が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

横瀬町多子世帯私立幼稚園保育料等軽減事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	2 幼児教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	幼稚園入園料及び保育料を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てる環境づくりをめざす。また、幼稚園就園率を向上させ、幼児教育の振興を図る。					
誰・何を (対象)						
どんなことを どのように (内容)	保護者と同居している子ども3人目以降の園児に係る入園料、保育料の減免を行う私立幼稚園設置者に補助金を交付する。幼稚園から保護者へ減免額を給付。横瀬町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づく給付と本事業により第3子以降の園児の保育料等を無料にする。(308,000円を限度とする。)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			1,128
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	保護者と同居している子ども3人目以降の園児に係る入園料、保育料の減免を行う私立幼稚園設置者に補助金を交付。 ほうしょう幼稚園 770,800円、ふたば幼稚園 278,000円、さくら幼稚園 80,000円
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 3人目以降の多子世帯に対して私立幼稚園就園奨励費限度額と同額を限度とし助成。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 多子世帯への経済的負担を軽減することができた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 多子世帯への経済的負担と幼稚園就園率を向上させ幼児教育の振興を図るため引き続き実施していく。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	保護者の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てる環境づくりができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

学校教育指導員配置事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	学校運営、管理等に関して専門的な知識を有した職員を雇用し、小中学校教職員の適切な配置や教育活動を一層充実させる。					
誰・何を (対象)	小中学校の児童・生徒・教職員					
どんなことを ・どのように (内容)	学校教育指導員（非常勤職員）を配置し、小中学校に対して学校運営管理等に関して専門的事項を指導する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,258	1,259	1,333
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,258	1,259

【 事業実績 】

実施内容	<p>学校教育指導員1名を週3日配置した。</p> <p>学校運営・管理に関する指導、助言、教員人事、人事評価、幼児教育に関する事務を行った。</p> <p>放課後等子ども教室の運営、教育相談を行った。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	県学習状況調査「学力」正答率の平均値（小学校）											
	最終目標値	85										単位	%
	実績値	平成24年度	98.3	平成25年度	98.2	平成26年度		平成27年度		平成28年度	59.1		
	達成度	104 %		103 %		0 %		0 %		70 %			
2	指標	県学習状況調査「学力」正答率の平均値（中学校）											
	最終目標値	85										単位	%
	実績値	平成24年度	94.6	平成25年度	94.7	平成26年度		平成27年度		平成28年度	59.5		
	達成度	105 %		105 %		0 %		0 %		70 %			
3	指標	県学習状況調査「規律ある態度」目標達成率の平均値（小学校）											
	最終目標値	85										単位	%
	実績値	平成24年度	83.7	平成25年度	84.5	平成26年度		平成27年度		平成28年度	91.4		
	達成度	105 %		105 %		0 %		0 %		108 %			
4	指標	県学習状況調査「規律ある態度」目標達成率の平均値（中学校）											
	最終目標値	85										単位	%
	実績値	平成24年度	0.2	平成25年度	0.2	平成26年度	0.6	平成27年度	0.9	平成28年度	91.6		
	達成度	99 %		0 %		99 %		0 %		108 %			
5	指標	新体力テスト「体力」総合評価A+B+C（小学校）											
	最終目標値	85										単位	%
	実績値	平成24年度	0.4	平成25年度	0.8	平成26年度	2.2	平成27年度	0.4	平成28年度	94.2		
	達成度	99 %		125 %		98 %		0 %		111 %			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	教職員に関する人事・学事を担当し、指導主事の事務の補完を行った。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	放課後等子ども教室の運営を円滑に行い、子ども居場所づくり事業を行った。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	指導主事が1名配置であるため、今後も学校指導員を配置する必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 次長 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	前職の経験をいかし、放課後等子ども教室の運営や教職員人事事務などの確に執行できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

中学生国際交流事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策 ①学校教育の充実 ②町民交流の推進						
何のために (目的・課題)	グローバルな視点でものごとを捉え、国際社会に貢献できる人材を育成するため、豊かな感性と柔軟な発想を持った中学生に国際交流体験の機会を与える。					
誰・何を (対象)	町内在住の中学生					
どんなことを ・どのように (内容)	夏休み等を利用し、横瀬中学校生徒から参加者を募り、海外派遣または国内における国際交流事業を体験する機会を与える。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	5,765	5,981	3,858	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	5,765	5,979	3,850
	一般財源		1	7

【 事業実績 】

実施内容	<p>◎海外派遣事業 平成28年度 派遣者14名 派遣先：オーストラリア・ブリスベン周辺 期間：8月16日から23日までの8日間（予定7日間、飛行機トラブルにより1日延長） ホームステイ3泊、現地学校体験2日間</p> <p>◎国内事業 参加者2名 8月20日実施 英語講師による座学</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標									
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
2	指標									
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
3	指標									
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
4	指標									
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		
5	指標									
	最終目標値									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	5/6点	3社見積りにより旅行業者を決定し、派遣者負担金を適正に徴収した。学校教育（英語科等）関連事業であり、海外実体験から参加者が得た心理的効果は大きいと考えられるが、基金残高不足が懸念材料である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	横中3年生が対象者である本事業は、平成10年度から定着して、年間事業スケジュールや派遣行程等、計画的に実施できた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	ここ数年の参加希望者は、定員を上回っている。また、対象者が横中3年生であるため、将来の参加希望者が順番待ちしていることも予想される。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	一部改善
総合評価	豊かな感性と柔軟な発想を備えた中学生に海外で異文化に直接体験させる機会を与えることは、国際的視野に立った見方や考え方を身につけるのに必要であり、今年度も19名の応募があり14名が参加している。派遣された中学生の報告書からも事業の効果は非常に高いと評価できる。また、より大勢の中学生に国際交流を体験してもらうため国内事業を新に実施した。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

小学校学級支援員配置事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	担任教員を補助者が補助・支援することにより、児童一人ひとりの能力に応じた指導体制が整い、子どもたちに確かな学力と豊かな人間性が身につく。					
誰・何を (対象)	小学校の児童・教職員					
どんなことを ・どのように (内容)	学級支援員5名を横小に配置する。 学級支援員は放課後、春・夏・冬休み子ども教室の指導員を兼務する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	2,633	2,600	2,587
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	2,633	2,600

【 事業実績 】

実施内容	学級支援員5名のうち、横小に1日2名を配置した。
------	--------------------------

【 目標指標 】

1	指標	県学習状況調査「学力」正答率の平均値（小学校）					単位	%
	最終目標値	85						
	実績値	平成24年度	平成25年度	98.2	平成26年度	平成27年度	平成28年度	59.1
	達成度	0 %	103 %		0 %	0 %	70 %	
2	指標	県学習状況調査「規律ある態度」目標達成率の平均値（小学校）					単位	%
	最終目標値	85						
	実績値	平成24年度	平成25年度	94.7	平成26年度	平成27年度	平成28年度	91.4
	達成度	0 %	105 %		0 %	0 %	108 %	
3	指標	新体力テスト「体力」総合評価A+B+C（小学校）					単位	%
	最終目標値	85						
	実績値	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	94.2
	達成度	%	%		%	%	111 %	
4	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	達成度	%	%		%	%	%	
5	指標						単位	
	最終目標値							
	実績値	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	達成度	%	%		%	%	%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 特別支援が必要な児童に対して、個別対応ができた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 学級支援員を配置することは、特別な支援が必要な児童にとって落ち着いた学習環境が提供できた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 特別な支援が必要な児童は増加傾向にあり、今後より個別対応が求められると思われ、増員が必要になる可能性がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 次長 小泉 智

今後の方針	拡大
総合評価	特別支援学級や普通学級の学力向上に貢献した。また、放課後子ども教室の指導員としても指導力を発揮した。今後児童の学力向上のためにも充実させたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

小学校ALT派遣事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	国際理解教育のため、幼い頃から本物の英語とふれあう機会をつくる。					
誰・何を (対象)	横瀬小学校5・6年生児童					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬小学校へ年間35日(1日7時間)、5・6年生以上(1クラスあたり20時間)の児童を対象にALTを派遣し、担任の補助を行い、外国語活動に親しむ。 ※歌やゲームなど英語に親しむ活動や簡単な英会話、英語の発音練習					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	756	756	756
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	756	756

【 事業実績 】

実施内容	年間35日(1日7時間)実施。 5・6年生を対象にALT(外国簿指導助手)を1名派遣し、担任の補助と簡単な英会話や発音練習を行った。
------	-----------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		県学習状況調査「学力」正答率の平均値（小学校）									
1	最終目標値	85						単位	%		
	実績値	平成24年度	98.3	平成25年度	98.2	平成26年度		平成27年度		平成28年度	59.1
	達成度	104 %		103 %		0 %		0 %		70 %	
指標											
2	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
3	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
4	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
5	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	3社見積もりにてALT派遣業者を決定した。英語教育のニーズ拡大に伴い、更なる授業時間の確保や質の向上が求められる。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	英語に対する親しみがもて、異文化交流の一助となった。中学校進学時における英語の授業への障壁を軽減する効果を得られた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	英語教育の必修化に向けた備えとなった。児童の将来の可能性拡大の為に、引き続きの派遣活動が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	英語を母国語としているALT（外国語指導助手）により、児童は身近に国際感覚と英会話を学習できた。今後、小学校の英語教育の進展を見極めながら持続していきたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

学校応援団事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	「学校応援団事業」の運営管理のため					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	「学校応援団」の支援ボランティアの活動に係る必要経費を支出する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	404	398	338
財源内訳	国県支出金	245	222
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	159	398

【 事業実績 】

実施内容	学校応援団（学校支援ボランティア、環境美化ボランティア、安全安心ボランティア）の活動のための経費。 ボランティア研修開催に伴う講師謝金。
------	-------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	学校応援団人数						単位	人		
	最終目標値	120									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	129
	達成度	%		%		%		%		108	%
2	指標	家庭教育支援事業参加者数						単位	人		
	最終目標値	250									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	129
	達成度	%		%		%		%		52	%
3	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%			%
4	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%			%
5	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%			%

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	最小限の予算で効果的な取組ができています。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	学校応援コーディネーター会議と実行委員会を適切に行っている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	各小・中学校からは、本事業を大変ありがたく感じていただいている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	行政、学校、地域が一体となり児童生徒の安心安全な学習環境や学力向上のための学習支援が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

放課後等子ども教室運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	放課後や長期休業中における児童の安全で安心な場所を確保するとともに、学習活動や地域の人々、学校応援団等のボランティアとの交流活動を行う。					
誰・何を (対象)	横瀬小学校児童1～3年生					
どんなことを どのように (内容)	課業日の放課後から午後5時30分まで、長期休業日は午前8時から午後5時30分までの間、図書室を利用。対象は横瀬小学校在籍の小学1年から3年生までの児童で、定員40名とする。指導員は、学級支援員が兼務する。利用料は無料とし、保険料実費のみ保護者負担とする。長期休業中も実施する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	3,105	3,213	3,227
財源内訳	国県支出金	844	968
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	2,261	2,245

【 事業実績 】

実施内容	放課後や長期休業中に放課後等子ども教室を開設し、学習活動を行ったり、地域の人々や学校応援団ボランティアの人々と交流を図りながら子どもの居場所づくり事業を行った。
------	----------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	学校応援団人数										
	最終目標値	120						単位	人			
	実績値	平成24年度	94	平成25年度	94	平成26年度	104	平成27年度	138	平成28年度	129	
	達成度	47 %		47 %		52 %		69 %		108 %		
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	0点：不十分	2/6点	現在、利用料は無料で、学童保育室とほぼ同じ内容の運営で利用者の公平性が欠けている状況である。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	子どもの居場所づくり事業としての重要な役割は果たしている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	3/6点	利用者のニーズが非常に高く、当初から希望者全員を入室させることができなかった。定員の拡大等を図る必要性がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1点：概ね適切		
総合点数		11/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	拡大
総合評価	放課後子ども教室で指導員として子ども達の活発な活動を指導できた。 なお、放課後子ども教室は、申し込みが多くあるので、制度の見直しの検討を含め指導員の増員と定員を増やし要望に少しでも応えたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

中学校ALT派遣事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	国際理解教育のため、指導体制の充実を図る。					
誰・何を (対象)	横瀬中学校生徒 249人					
どんなことを どのように (内容)	横瀬中学校へ年間70日(1日7時限)ALTを派遣し、外国語教育の指導体制を充実させる。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	756	1,512	1,512
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	756	1,512

【 事業実績 】

実施内容	週2回、年間70日実施。 ALT(外国語指導助手)を2名派遣し、英語担当教諭の補助と英会話、発音練習等を行った。
------	-------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標		県学習状況調査「学力」正答率の平均値（中学校）									
1	最終目標値	85					単位	%			
	実績値	平成24年度	93	平成25年度	92.8	平成26年度		平成27年度		平成28年度	59.5
	達成度	106 %		105 %		0 %		0 %		70 %	
指標											
2	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
3	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
4	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
指標											
5	最終目標値						単位				
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	3社見積もりにてALT派遣業者を決定した。英語教育のニーズ拡大に伴い、更なる授業時間の確保や質の向上が求められる。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	英語に対する苦手意識の緩和、異文化交流の一助となった。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	グローバルな人材が求められる情勢や、生徒の将来の可能性拡大のニーズに対する授業実施の一助となった。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	英語を母国語としているALT（外国語指導助手）により、生徒は身近に国際感覚と英会話を学習できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

さわやか相談員配置事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	子どもの「心の悩み」に対し、親身になって相談に応じるさわやか相談員を配置することにより、不登校やいじめをなくす。					
誰・何を (対象)	中学校生徒、教職員					
どんなことを どのように (内容)	「さわやか相談員」を町の非常勤職員として採用する(1日5時間勤務)。生徒、保護者等のいじめや不登校等の相談に応じる。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	1,608	1,601	1,601	
財源内訳	国県支出金	979	974	971
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	629	627	630

【 事業実績 】

実施内容	横中にさわやか相談員として、町非常勤職員1名を配置し、生徒の悩み相談を行った。
------	-----------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%
2	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%
3	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%
4	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%
5	指標						単位			
	最終目標値						単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 適切な経費の中で、最大限の取組を行っている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 さわやか相談員の勤務時間を適切な日時に割り振り、生徒の悩み相談に応じている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 生徒の個別の心の相談に対応するために今後も配置していく。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 次長 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	生徒や担任教諭との相談活動により信頼関係が構築され、今年度も学校が落ち着いた状態にあり、いじめなど問題行動の未然防止が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

横瀬小中学校ホームページ管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策		①学校教育の充実				
何のために (目的・課題)	横瀬小学校、横瀬中学校のホームページ管理について、セキュリティ面の強化や更新の能率化等を図る。					
誰・何を (対象)	横瀬小学校、横瀬中学校の教職員、児童、生徒、保護者、その他閲覧者					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬小、横瀬中のホームページ管理を現在とは違う業者に委託する。セキュリティの強化やマルチデバイス（スマホ・タブレット等）への対応、リアルタイム更新、緊急時対応、運用サポート等、安全で安定した管理を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			905
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	小中各校で管理していた学校ホームページを、業者委託してリニューアルして保護者に情報伝えやすいホームページにした。
------	----------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%
2	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%
3	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%
4	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%
5	指標							単位		
	最終目標値							単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度
	達成度	%		%		%		%		%

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	PC、スマホ等、多様なメディアに対応したプラットフォームの構築ができ、利便性を高めることができた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	外部委託することで、学校の教職員の業務の負担軽減が図れた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	教職員が簡単に記事を掲出できるようになり、保護者からのアクセスが増えた。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 次長 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	セキュリティ強化やリアルタイム更新等安定した管理が行えた。また教員の負担軽減も図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

児童生徒学習支援事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					新規	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策 ①学校教育の充実 ②子育て支援の推進						
何のために (目的・課題)	横瀬小中学校の児童生徒の、学習に関わる資格取得を支援する。					
誰・何を (対象)	横瀬小中学校の児童生徒とその家族					
どんなことを ・どのように (内容)	漢字・英語・数学の検定に、横瀬小中学校の児童生徒がその家族と一緒に受検する際、検定料の半額を補助する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費			105
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	児童生徒が受検した検定料の補助 (各1,000円) 漢字検定 43人 英語検定 46人 数学検定 16人
------	---------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	県学習状況調査「学力」正答率の平均値（小学校）						単位	%		
	最終目標値	85									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	59.1
	達成度	%		%		%		%		70 %	
2	指標	県学習状況調査「学力」正答率の平均値（中学校）						単位	%		
	最終目標値	85									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	59.5
	達成度	%		%		%		%		70 %	
3	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標							単位			
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 多くの児童生徒が受検できるよう各検定1,000円の助成金とした。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 各検定に対し助成を行い、学習に係る資格取得の一助となった。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 学習意欲、学力向上のため引き続き実施していく。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		18/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	児童生徒の検定受検機会の提供や学習意欲向上につながった。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

町民体育祭事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策	①町民交流の推進					
何のために (目的・課題)	スポーツ・レクリエーションによる地域の活性化及び町民の健康保持や体力の増進を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	体育協会(主管)・スポーツ推進委員による競技の種目検討会議・準備を実施する。また、各地区体育部による競技選手の選考・練習を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	188	604	729
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	188	604

【 事業実績 】

実施内容	選手、役員、およそ2,700名の参加があり、19の種目で競いあった。アトラクションの実施やスポーツ賞の表彰も併せて行った。
------	---------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

指標	社会体育施設の年間延べ利用者数										
1	最終目標値	46,000								単位	人
	実績値	平成24年度	45,259	平成25年度	34,367	平成26年度	41,624	平成27年度	52,724	平成28年度	54,037
	達成度	110 %		84 %		102 %		129 %		117 %	
2	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
達成度	%		%		%		%		%		
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
達成度	%		%		%		%		%		
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
達成度	%		%		%		%		%		
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	最小限の経費で事業を運営している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	10月第1日曜日の開催で定着しており、開催に向けた検討、調整、準備等について、各地区及び関係団体と連携しながら実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	4/6点	町のコミュニティ醸成のため、体育祭は必要な事業であるが、一部で選手集めの苦労や内容等についての意見があるのも事実であり、課題となっている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	町を代表するイベントで、町民が一堂に集まり、スポーツを通して、各地区住民の絆を深めた。競技種目や工夫を検討する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

スポーツ振興事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策	①社会教育の充実 ②町民交流の推進					
何のために (目的・課題)	明るく活気に満ちた生きがいのある社会を形成するため、スポーツ・レクリエーションを通して「こころ」と「身体」の健全な発達を促す。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	社会体育事業として、幅広い年代の町民がスポーツに親しむ機会や環境を拡充させるとともに、町民相互のふれあいを高める環境整備に努める。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	660	750	647	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	92	176	118
	一般財源	567	574	528

【 事業実績 】

実施内容	<p>【スポーツ教室等】○町民ハイキング35名参加 ○小学生親子水泳教室全4回延べ97名参加(1回中止) ○健康づくり課主催講座の体力測定協力全2回延べ24名 ○小学生スポーツ教室(かけっこ、てつぼう、なわとび)3種全6回延べ95名 【スポーツイベント】横瀬町駅伝競走大会 85チーム参加 【中学校体育館利用】7,601名</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	社会教育主催事業の参加者数									
	最終目標値	3,500						単位	人		
	実績値	平成24年度	305	平成25年度	312	平成26年度	702	平成27年度	801	平成28年度	3,298
	達成度	31 %		31 %		70 %		80 %		94 %	
2	指標	スポーツ教室の参加者数									
	最終目標値	700						単位	人		
	実績値	平成24年度	0	平成25年度	0	平成26年度	0	平成27年度		平成28年度	718
	達成度	0 %		0 %		0 %		0 %		103 %	
3	指標	スポーツ少年団加入率（小学生）									
	最終目標値	30						単位	%		
	実績値	平成24年度	45,259	平成25年度	34,367	平成26年度	41,624	平成27年度	52,724	平成28年度	32
	達成度	110 %		83 %		102 %		129 %		107 %	
4	指標	生涯スポーツ推進計画の策定									
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度	7	平成25年度	8	平成26年度	10	平成27年度	12	平成28年度	
	達成度	29 %		33 %		42 %		50 %		0 %	
5	指標	社会体育施設の年間利用者数									
	最終目標値	46,000						単位	人		
	実績値	平成24年度	3,705	平成25年度	3,371	平成26年度	3,568	平成27年度	3,996	平成28年度	54,037
	達成度	93 %		84 %		89 %		90 %		117 %	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	参加者の負担金を、事業費の3割程度を目途に設定。最小限の経費で事業実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	生涯学習、生涯スポーツの観点から、継続して町民に参加を働きかけるため、各種教室を開催する意義がある。小学生の教室等は、例えばかけっこ教室は運動会前に実施するなど、開催時期も考慮している。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	町民の、スポーツをするきっかけ作りとして各種教室は必要である。多くの町民が興味を持って、参加しやすい事業を開催することも今後の課題である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	社会体育施設の貸出、町民ハイキング、水泳等各スポーツ教室開催により、町民の「こころ」と「身体」の健全な発達を促した。また、健康づくり課主催講座への協力も図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

スポーツ推進委員事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町民のニーズに合わせて、町民一人ひとりが、生涯をとおしてスポーツ・レクリエーション等に親しめる為の活動機会を充実させる。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	ライフステージに応じた各種事業(教室・大会・ニュースポーツ紹介)を企画運営する。また、町民体育祭や駅伝競走大会の実施に対して全面的な協力を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	450	511	489
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	450	511

【 事業実績 】

実施内容	<p>○主催事業等 8事業(延べ15回) 参加委員数延べ163名 町民ハイキング・ハイキング下見・体力測定・水泳教室・小学生スポーツ教室3事業・スポ少運動適性テスト ○町民体育祭(準備2日含む)及び駅伝競走大会の運営協力 ○毎月1回の定例会を開催</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	社会教育主催事業の参加者数									
	最終目標値	3,500						単位	人		
	実績値	平成24年度	305	平成25年度	312	平成26年度	702	平成27年度	801	平成28年度	3,298
	達成度	31 %		31 %		70 %		80 %		94 %	
2	指標	スポーツ教室の参加者数									
	最終目標値	700						単位	人		
	実績値	平成24年度	0	平成25年度	0	平成26年度	0	平成27年度		平成28年度	718
	達成度	0 %		0 %		0 %		0 %		103 %	
3	指標	スポーツ少年団加入率（小学生）									
	最終目標値	30						単位	%		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	32
	達成度	%		%		%		%		107 %	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 最小限の経費で主催事業等を運営している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5/6点 スポーツ振興について、専門的知識を活かし、適切な事業の企画運営を行ったが、中長期的な事業展開も検討と考える。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点 ここ数年小学生対象のスポーツ教室に重点を置き事業を展開しているが、根強いニーズが存在するため、これを推進するとともに、一般向けスポーツ教室の開拓等、更なる推進委員の活躍が必要となる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	町民ハイキング、各種スポーツ教室、町民体育祭、駅伝競走大会など事務局とともに事業を実施し、町の社会体育事業推進に貢献した。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

保健体育団体助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策	①町民交流の推進 ②青少年の健全育成					
何のために (目的・課題)	助成金交付により、自主的・自発的なスポーツ活動の環境を整え、町民の体力や好運動性の向上、健康の保持増進を図る。また、青少年健全育成活動を推進させる。					
誰・何を (対象)	該当団体 28団体					
どんなことを ・どのように (内容)	年1回、横瀬町体育協会及び横瀬町スポーツ少年団に対して活動支援のための補助金を交付する。同時に町の事業への積極的な協力を依頼する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	2,260	2,260	2,460
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	2,260	2,260

【 事業実績 】

実施内容	<p>スポーツ活動活性化のため、体育協会へ1,900千円、スポーツ少年団へ560千円の補助金を交付した</p> <p>【活動費】体育協会 収入2,343,671円 支出2,085,747円 スポ少 収入783,982円 支出723,253円</p> <p>【構成員】体育協会18団体748名(うち休部3団体、各地区体育部除く) スポ少6団体団員182名</p> <p>【活動内容】体育協会 広報誌発行、体育祭主管、駅伝開催等 スポ少 母集団研修、清掃活動等</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	スポーツ少年団加入率（小学生）											
	最終目標値	30										単位	%
	実績値	平成24年度	41	平成25年度	46	平成26年度	45	平成27年度	44	平成28年度	32		
	達成度	82 %		92 %		90 %		88 %		107 %			
2	指標	スポーツ団体数											
	最終目標値	51										単位	団体
	実績値	平成24年度	45,259	平成25年度	34,367	平成26年度	41,624	平成27年度	52,724	平成28年度	43		
	達成度	110 %		83 %		102 %		129 %		84 %			
3	指標	年間スポーツイベント数（教育委員会事業）											
	最終目標値	12										単位	事業
	実績値	平成24年度	7	平成25年度	8	平成26年度	10	平成27年度	12	平成28年度	11		
	達成度	29 %		33 %		42 %		50 %		92 %			
4	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
5	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	各団体とも、補助金を使用して各種事業を工夫して実施している状況である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	これらの団体は、町の生涯学習や社会体育振興の中核をなし、町の活性化にも寄与している。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	生涯学習、社会体育振興のためにも、これら団体への活動支援は必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	体育協会やスポーツ少年団への活動支援ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

人権教育推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	1 人権の尊重・平和意識の啓発					
その他の関連する施策	①社会教育の充実					
何のために (目的・課題)	同和問題をはじめとするあらゆる差別をなくすため、町民への人権教育および啓発事業を行う。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	<p>人権教育講演会を各種団体と共催により実施する。</p> <p>人権教育研修会・人権教育啓発活動を実施し、町人権教育推進協議会へ補助金を交付する。</p> <p>人権運動団体の研修会への参加や人権運動団体との交渉に対応する。</p> <p>人権図書の購入及び新聞を購読する。</p>					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	594	741	891
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他	325	
	一般財源	269	741

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育総合推進地域事業（平成28・29・30年度 文部科学省指定事業）241,730円 ・1団体に補助金交付 町人権教育推進協議会事業費補助金 130,000円 ・横瀬町講演会開催（12/17：360名参加）440,000円 ・人権教育関連団体負担金、研修会負担金等
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	社会教育主催事業の参加者数									
	最終目標値	3,500						単位	人		
	実績値	平成24年度	497	平成25年度	438	平成26年度	687	平成27年度	433	平成28年度	3,298
	達成度	58 %		51 %		80 %		50 %		94 %	
2	指標	人権教育研修会・講演会の参加者数									
	最終目標値	660						単位	人		
	実績値	平成24年度	15.9	平成25年度	14.3	平成26年度	16.4	平成27年度	17	平成28年度	445
	達成度	80 %		65 %		82 %		85 %		67 %	
3	指標	審議会などの女性委員割合									
	最終目標値	25						単位	%		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	38
	達成度	%		%		%		%		152 %	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	各種団体の研修会負担金は多額であるが、人材の育成は重要である。人権意識の高揚を図る上で事業は必要。また、人権教育総合推進地域事業（平成28・29・30年度 文部科学省指定事業）における事業も継続して計画的に実施する。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	総合計画に基づき長期的、継続的に事業を進める必要がある。また、人権教育総合推進地域事業（平成28・29・30年度 文部科学省指定事業）における事業も継続して計画的に実施する。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	4/6点	町民の人権に関する意識調査結果を参考に、更に地域の実情にあった事業に取り組む必要がある。また、人権教育総合推進地域事業（平成28・29・30年度 文部科学省指定事業）における事業も継続して計画的に実施する。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1点：概ね適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	人権教育に関する事業実施し、町民へ人権意識の浸透を図った。また、人権教育総合推進事業の地域指定を受け地域、学校と連携し人権教育の推進が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

公民館主催事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策	①幼児教育の充実 ②青少年の健全育成					
何のために (目的・課題)	学習活動を通して町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	講座・教室、施設見学等を町民の年齢層、ニーズに合わせて企画・実施するとともに、他課所と連携して共同開催し事業を展開する。 【学習機会の提供】一般町民向け(3講座)、親子向け:リトルラビット(20回)、小学生向け(6講座)					

【 事業費等 】

(単位:千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	977	1,024	997	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他	318	381	418
	一般財源	658	643	579

【 事業実績 】

実施内容	<p>ママとよい子のリトルラビット(20回) 公民館講座(4事業) 子ども体験学習(3事業) クッキー作り教室 小学生工作教室(児童館と共催) 工場探検・体験ツアー 秋の美術館めぐり 放課後子ども教室(6回) 講師謝金285,000円 消耗品費80,420円 食糧費104,908円 実習材料費22,671円 郵便料728円 講師派遣手数料10,000 損害保険料3,780円 有料道路通行料37,780円 駐車場使用料1,200円 施設入館料151,860円 バス借上料299,600円</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	社会教育主催事業の参加者数									
	最終目標値	3,500						単位	人		
	実績値	平成24年度	645	平成25年度	686	平成26年度	997	平成27年度	967	平成28年度	3,298
	達成度	65 %		69 %		99 %		97 %		94 %	
2	指標	公民館の年間利用者数									
	最終目標値	35,000						単位	人		
	実績値	平成24年度	31,033	平成25年度	31,254	平成26年度	26,358	平成27年度	24,524	平成28年度	26,908
	達成度	111 %		112 %		94 %		88 %		77 %	
3	指標	リトルラビット事業の参加者数									
	最終目標値	20						単位	組		
	実績値	平成24年度	18	平成25年度	20	平成26年度	12	平成27年度	15	平成28年度	15
	達成度	106 %		118 %		71 %		88 %		75 %	
4	指標	文化協会加盟団体数									
	最終目標値	40						単位	団体		
	実績値	平成24年度	38	平成25年度	39	平成26年度	38	平成27年度	41	平成28年度	41
	達成度	100 %		103 %		100 %		108 %		103 %	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	5/6点	年間を通じて、バランスよく、大人向けの講座、子ども向けの講座が実施できた。子育て支援事業では、児童館や健康づくり課と連携し参加機会の確保に配慮しながら効果的に実施した。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	住民の教養向上、健康増進、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する講座事業を展開し計画にも合致している。学習の場の提供及び青少年健全育成の推進の観点からも長期的効果は高い。事業実施は妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	実施した講座はほぼ定員に達し、成果がでている。町民ニーズと時代のニーズに合わせた、より多様な事業の実施を検討する必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		17/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	美術館めぐり、リトルラビット、子ども体験学習等各種講座の開催により、町民文化の向上が概ね図れた。また、放課後子ども教室と連携し、事業が実施出来た。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

図書館管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策	②文化・芸術活動の充実					
何のために (目的・課題)	町民が図書館の利用を通して学習及び情報を入手し、文化的な生活ができるよう図書館サービスを提供する。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	図書館の管理運営と図書等の計画的購入及び利用者へ必要な情報と資料の提供を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	5,308	6,212	6,363
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	5,308	6,212

【 事業実績 】

実施内容	年間利用者数 16,295人、年間貸出冊数 一般書7,326冊 児童書16,560冊。非常勤職員賃金等2,017,350円、図書等購入費1,409,650円(図書 890,086、雑誌 247,989、新聞4紙 164,124、CD・DVD 107,451)、図書館システム料2,692,956円(回線使用料 51,840、プロバイダー使用料 12,960、保守委託料 565,056、サービス使用料 776,820、リース料 1,286,280)、施設用備品購入費 136,300円、一般事務費等107,115円
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	図書館の年間利用者数								単位	人
	最終目標値	16,000									
	実績値	平成24年度	13,125	平成25年度	13,423	平成26年度	12,799	平成27年度	14,647	平成28年度	16,295
	達成度	82 %		84 %		80 %		92 %		102 %	
2	指標	児童図書館の年間貸出冊数								単位	冊
	最終目標値	15,000									
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	16,560
	達成度	%		%		%		%		110 %	
3	指標									単位	
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標									単位	
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標									単位	
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点 コスト削減を図るとともに公共図書館の役割を果たすため管理運営を実施した。特に、システムの相互貸借の利便性が向上したため、町で所蔵していない図書を他市町村から借りるなど有効利用し、経費節減に努めた。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点 町民の生涯学習を支援し、地域の情報拠点としての役割を果たすため、資料の収集・保存・整備を行った。また、子ども読書活動推進計画を策定し子どもの読書活動を計画的かつ総合的に推進することとした。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点 利用者のニーズに応えるため、予約・リクエストサービスや県内図書館との相互貸借を行い利用促進に努めた。また、公共図書館の役割を果たすため、業務サービスの向上を図った。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		17/18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	図書の収集、整理、保存、貸出し等を行い教育と文化の発展に寄与できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

本ふれあい推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	2 幼児教育の充実					
その他の関連する施策	①学校教育の充実					
何のために (目的・課題)	子どもをはじめ町民の読書活動を推進する。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	<p>【ブックスタート事業】スタート・パックを手渡し読み聞かせのアドバイスなどを行う。</p> <p>【読書感想文集発行事業】読書感想文集「いわざくら」の作品募集・発行を行う。</p> <p>【ポイントカード事業】幼児から小学生を対象に「ポイントカード」を発行する。</p> <p>【夏休み子ども1日図書館員事業】小学生を対象に図書館の職場体験を行う。</p>					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	119	77	66
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	119	77

【 事業実績 】

実施内容	読書感想文応募者32名 記念品代 16,000円、ブックスタート61名参加 布製バッグ・絵本 30,888円、ポイントカード新規参加者H28 116人 通算640人 引き換え景品代 20,000円
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	図書館の年間利用者数									
	最終目標値	16,000							単位	人	
	実績値	平成24年度	13,125	平成25年度	13,423	平成26年度	12,799	平成27年度	14,647	平成28年度	16,295
	達成度	82 %		84 %		80 %		92 %		102 %	
2	指標	児童図書の間貸出冊数									
	最終目標値	15,000							単位	冊	
	実績値	平成24年度	13,482	平成25年度	13,862	平成26年度	18,562	平成27年度	14,019	平成28年度	16,560
	達成度	104 %		106 %		143 %		108 %		110 %	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	乳幼児から中学生・大人までのあらゆる層に本を親しむ事業を実施し、経費を抑え、最大の効果を生むように努力した。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	第5次総合振興計画後期基本計画第4章1社会教育の充実の施策の内容(2)社会教育事業の充実のなかでも図書館業務サービスの向上とある
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	団体貸出、読書感想文は例年の参加が見込まれ、ポイントカードは参加者が増加している、ブックスタートは出席率100%でニーズが高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	団体貸出、ブックスタート、読書感想文の募集などにより、概ね読書活動の推進が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

町民会館管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	5 文化・芸術活動の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町民の文化・芸術活動等の活動拠点である町民会館の施設環境を良好に保ち、利用者が安全・快適に使用できるよう維持管理を行う。 今後、耐用年数を経過した施設の修繕・改修を中長期改修計画を基に実施し、施設が有する機能を保っていく必要					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	建物及び設備等の性能及び機能を適切な状態に維持管理を行う。 ①建物・設備等保守管理業務 ②備品・什器等管理業務 ③駐車場管理業務 ④清掃業務 ⑤警備委託 ⑥消防用設備保守点検業務 など					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	
総事業費	19,881	17,496	20,351	
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担	1,219	1,616	1,568
	その他	105	183	168
	一般財源	18,556	15,696	18,614

【 事業実績 】

実施内容	<p>利用人数：50,396人 使用料：1,568,375円 自販機電気料：108,000円 自販機売上手数料：60,404円 賃金：2,531,213円 需用費：7,475,404円 (光熱水費4,419,920円 燃料費426,171円 修繕費2,414,372円 消耗品等214,941円)) 役務費：121,641円 (電話料等) 委託料：7,691,683円 (夜間管理委託料等) 使用料及び賃借料：2,437,785円 (用地賃借料等) 備品購入費：93,544円</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町民会館の年間利用者数									
	最終目標値	55,000						単位	人		
	実績値	平成24年度	52,903	平成25年度	53,981	平成26年度	47,336	平成27年度	45,769	平成28年度	50,396
	達成度	118 %		120 %		105 %		101 %		92 %	
2	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	施設の老朽化に伴い、施設設備等の修繕が必要となったが施設の維持管理のために必要最低限の経費である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	町民会館の年間利用者数は減少したが、利用件数は増加した。町の生涯学習施設の拠点であり今後とも有効活用を推進していく。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	身近な文化・芸術活動の拠点として、講演会や会議・研修会等の様々な利用ニーズに対応し施設の運営を行った。今後も町民が利用しやすい環境を提供するには、施設の改修を計画的に行い、会館の機能充実を図ることが急務である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	町民の文化の向上と福祉の増進を図る拠点施設として概ね管理運営ができた。施設の老朽化に伴い、施設設備の修繕等が計画的に必要となっている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

ヨコゼ音楽祭補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	5 文化・芸術活動の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	音楽にふれあえる機会を増やし、音楽意識の高揚に努め、音楽によるこころ豊かなまちづくりを推進する。また、協働のまちづくりによる町のイメージアップとPR活動を推進する。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	実行委員及びボランティアが主体となって運営するヨコゼ音楽祭事業（ふれあいコンサート・名曲コンサート）の実施に伴い補助金を交付し支援する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	1,800	1,800	1,800
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,800	1,800

【 事業実績 】

実施内容	8/6【ふれあいコンサート】横瀬小学校かしの木合唱団、横瀬中学校吹奏楽部、横瀬コーラスサークル、マール弦合奏団（入場者数：369人）8/7【合唱音楽鑑賞会】ピアニスト 上原彩子（入場者数：237人）8/7【名曲コンサート】ピアニスト 上原彩子【入場者：348人】
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	ヨコゼ音楽祭の観客数									
	最終目標値	1,000						単位	人		
	実績値	平成24年度	669	平成25年度	843	平成26年度	668	平成27年度	797	平成28年度	713
	達成度	67 %		84 %		67 %		80 %		71 %	
2	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値										
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	5/6点	ヨコゼ音楽祭のチケット収入は出演料の約7割程度であり、経費の節減にも限界があり補助は必要である。また、文化的な町のイメージアップを図る上でも効果的な事業である。企画・運営がボランティアからなる実行委員によって行われているので、年1回の開催が適当である
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	「地域に根ざした文化振興」「ゆとりとやすらぎをテーマに町民の心を豊かにする」等の計画に合致している。住民による住民のための音楽祭であることから地域活性化においても有効的であり、長期的効果が望める。他事業との日程調整もあり、8月の開催が適当である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5/6点	来場者にアンケート用紙を配布し、出演者の選考には様々な意見やニーズに応えるよう努力している。歴史もあり夏のイベントとして定着しているため、文化・芸術活動の核として将来的においても必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		16/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	ヨコゼ音楽祭実行委員会の運営によりヨコゼ音楽祭を開催され、町民の文化の向上や対外的に町のイメージアップが図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

音楽によるまちづくり事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	5 文化・芸術活動の充実					
その他の関連する施策	①学校教育の充実					
何のために (目的・課題)	町民が気軽に音楽に親しめる機会と子どもたちが優れた音楽に接する機会、及び演奏者に発表する場を提供することにより町の音楽文化の振興を図り、音楽によるまちづくりを推進する。					
誰・何を (対象)	全住民 8,664人 (H27.12.1)					
どんなことを どのように (内容)	【まちかどコンサート事業】月1まちかどコンサート・ライブコンサート 【音楽によるまちづくり推進補助事業】公共施設を利用して開催するコンサートに補助 【アウトリーチ事業】横瀬小学校の児童を対象にプロ等による演奏会を開催。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	91	1,500	401
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	91	1,500

【 事業実績 】

実施内容	横瀬小学校演劇鑑賞会 (11/9) 90,000円、音楽によるまちづくり補助金 (1団体) 100,000円 月1まちかどコンサート (11回) 122,507円、ヨコゼ音楽祭同時開催 (3組 町内3箇所) 33,411円、よこぜまつり・彼岸花まつり同時開催 (5組) 55,685円
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	ヨコゼ音楽祭の観客数											
	最終目標値	1,000									単位	人	
	実績値	平成24年度	669	平成25年度	843	平成26年度	668	平成27年度	797	平成28年度	713		
	達成度	67 %		84 %		67 %		80 %		71 %			
2	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
3	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
4	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			
5	指標												
	最終目標値											単位	
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	達成度	%		%		%		%		%			

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	事業費は、適切かつ必要最小限である。小学校とも連携して豊かな感性を育むために効果的な手段で実施できた。また、音楽を通して町民が心豊かに生活ができるための機会を図った。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	小学生から文化芸術活動への興味を引き出す機会を提供した。また、町の音楽文化の振興を図り、町民の心豊かな生活の創出に寄与できた。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	本事業は、音楽を通して豊かな人間性を育む事業であり、町に安らぎや活力を生み出すのに必要である。多様化する町民のニーズを反映しながら音楽ジャンルなどを工夫して事業展開を図った。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	小学校児童に本物の楽器演奏に触れる機会を与えることができ、町民へは、月1まちかどコンサートの実施で、音楽をより身近なものにできた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

文化財保護事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	6 文化財の保護・継承					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の文化財を適切に保護・継承するため。					
誰・何を (対象)	町民					
どんなことを ・どのように (内容)	町の文化財を保護・継承するため、指定文化財等保護に必要な記録保存作業を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	203	564	917
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	203	564

【 事業実績 】

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財標識及び説明板設置工事 367,200円 ・文化財写真フィルム電子化 383,670円 ・城谷沢の井及び根古屋城址除草作業、各負担金支払い等
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町指定文化財数										
	最終目標値	45						単位	件			
	実績値	平成24年度	42	平成25年度	42	平成26年度	42	平成27年度	42	平成28年度	42	
	達成度	93 %		93 %		93 %		93 %		93 %		
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	後継者の高齢化が懸念されているが、団体の積極的な活動を支援できているため、適切に支出している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	各保存会の活動は、長年にわたり継承されており、その成果のお披露目は既に町内外に定着している。公演回数が増えることはあっても、基本的に減ることはない事業である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	文化財の保護及び伝承に必要であり、今後も必要とされる事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	民俗文化財の後継者養成の育成や文化財写真フィルムの電子化事業などの文化財保護活動ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価票

歴史民俗資料館管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	6 文化財の保護・継承					
その他の関連する施策	①文化財の保護・継承					
何のために (目的・課題)	先人から長い年月引き継いできた考古・歴史・民俗の資料を収集・保管し、併せて展示公開の活動拠点として活用している歴史民俗資料館の施設を適切に管理・運営するため。					
誰・何を (対象)	歴史民俗資料館					
どんなことを ・どのように (内容)	歴史民俗資料館の施設や収蔵品を維持・管理するための職員の確保、職員人件費や施設にかかる費用の支払いなど。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)
総事業費	6,347	6,184	7,008
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担	177	172
	その他		56
	一般財源	6,169	5,955

【 事業実績 】

実施内容	<p>横瀬町歴史民俗資料館を管理運営するための事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度入館者：2,183人、入館料：154,040円、リーフレット等売却金額23,600円 ・平成28年度企画展：写真展「武光の田どころ横瀬」 ・土曜ミュージアムトーク12回開催したほか、収蔵品管理・整理業務等を実施。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	歴史民俗資料館の年間利用者数									
	最終目標値	2,500						単位	人		
	実績値	平成24年度	1,975	平成25年度	1,954	平成26年度	2,020	平成27年度	2,237	平成28年度	2,183
	達成度	66 %		65 %		67 %		75 %		87 %	
2	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6/6点	非常勤職員とシルバー人材センター委託等により、人件費を抑えながらの地味な事業であるが、町の歴史・伝統文化を保存・継承・活用するための最重要施設として管理に力を入れている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6/6点	築後30数年の老朽施設であるが、消防設備等の点検や清掃、補修等の必要な管理をしながら、施設の良い維持管理に努めている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6/6点	膨大な数の貴重な所蔵資料の大部分が整理され、将来の展示活用を待っている。毎年度2千人前後の入館者数を維持している中で、町内外小中学校の学年見学があり、中学校を卒業するまでに当該校の全員が見学してくれている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18/18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 智

今後の方針	現状維持
総合評価	文化財写真展「武光の田どころ横瀬」の開催、ミュージアムトークの実施、収蔵品管理・整理業務などにより、町の歴史や伝統文化の保存・継承・活用に寄与できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	